

令和4年度 事業年報

はじめに

平素は、公益財団法人滋賀県健康づくり財団の事業運営に、関係各位のご支援、ご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

私どもの財団は、昭和 55 年の財団法人滋賀県保健衛生協会としての設立以来、その事業を引き継ぎ、疾病の予防、早期発見および健康の保持増進を図るための必要な事業を行うことにより、県民の健康寿命の延伸への貢献をはじめとした県民の福祉の向上に寄与することを目的として事業を実施しております。

令和 4 年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症が蔓延する中での財団運営となりましたが、基本的な感染対策の実施やリモート会議の活用等を図り、当初の事業計画に沿った事業を実施できるよう努めました。

健診事業については、市町の住民健診（検診）を中心としつつ、新規事業所の開拓や健診センターにおける受診者の増加に努めるとともに、特殊健診等健診実施項目の拡大にも取り組みました。コロナへの対応として三密対策や検査機器の消毒など感染対策を徹底することで、健診は継続して実施することができましたが、学校・事業所健診の一部を失注したこともあり、受診人数の総計は前年度をやや下回る結果となりました。

健康づくりに関する知識の普及啓発としては、コロナの影響による健診（検診）の受診控えの傾向が懸念される中、関係機関・団体・企業等と連携し、SNSなども活用しながら、女性がんをはじめとしたがん検診受診に関する知識の普及啓発等に積極的に取り組みました。

当財団といたしましては、引き続き、健診を受診することの重要性を啓発しながら、安全で安心な健診を受けていただく機会を効果的に提供するとともに、結核予防、がん対策、臓器移植の推進等の諸事業に着実に取り組んでまいります。

このたび、令和 4 年度の当財団の事業の取組の概要を「事業年報」として取りまとめました。ご高覧いただきご意見を賜れば幸いです。

令和 6 年 3 月

公益財団法人滋賀県健康づくり財団

理事長 山元 雅 司

目 次

はじめに

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業	
(1) 普及啓発事業	1
(2) がん対策推進事業	2
(3) 複十字シール運動募金事業	5
(4) がん検診精度管理事業	7
(5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業	9
(6) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業	14
(7) 健診（検診）相談事業	15
2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業	
(1) 特定健診・施設内健診・特定保健指導事業	16
(2) 結核健診事業	24
(3) がん検診事業	29
(4) 検査事業	49
(5) 健診結果分析評価事業	53
(6) 健康づくり事業	53
3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業	
(1) 臓器移植コーディネーター設置事業	55
(2) アイバンク事業	57
(3) 腎臓バンク事業	59
4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を充実・補完する事業	
(1) 療養所入所訪問・一時帰省招待およびハンセン病啓発事業	61
(2) 母子保健関連推進事業	61
(3) 医師会健診データ電子化事業	63
5. その他財団の目的を達成するために必要な事業	
(1) 結核予防会滋賀県支部事業	65
(2) 日本対がん協会滋賀県支部事業	65
(3) 個人情報の取り扱いを適切に行う体制整備事業	66
6. 精度管理	68
7. その他の活動記録	
(1) 沿革	69
(2) 役員会の開催状況	69
(3) 年間行事	73
(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等	75
8. 組織、役員名簿	
(1) 組織	76
(2) 役員名簿	77

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業

- (1) 普及啓発事業
- (2) がん対策推進事業
- (3) 複十字シール運動募金事業
- (4) がん検診精度管理事業
- (5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業
- (6) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業
- (7) 健診（検診）相談事業

1. 健康づくりに関する知識の普及啓発、調査研究、保健医療従事者等の人材育成等を推進する事業

(1) 普及啓発事業

県民一人ひとりが健康づくりの知識を深め、自分の健康は自分で守るとの理念の下、疾病の予防、早期発見に役立つ各種健診(検診)の受診率向上を図るため、強調月間等に合わせ、リーフレット等の啓発資材活用を通じ各市町、関係団体とも連携を図り、県民に対し健康づくりの普及啓発に努めた。

また、当財団が進める事業について、県民の皆さんや関係者に広く周知し、理解を得るため、財団ホームページを活用して各事業の啓発を行った。

さらに、財団の活動実績を「事業年報」としてまとめ、ホームページに掲載した。

表1 令和4年度印刷物等の配布実績

種類		数量	配布先	備考
パンフレット	対がん協会報	650	がん検診検討会各部長、県、市町関係機関等	毎月50部 増刊号50部
	結核の常識2020	4,911	県、保健所、市町、関係機関等	
	複十字誌	1,434	〃	年6回 239部/回
	複十字シール運動 (リーフレット)	11,062	〃	
	健康の輪	270	〃	年3回 90部/回
ポスター	がん征圧月間	75	〃	
	結核予防週間	284	〃	
	禁煙	75	〃	
	複十字シール運動	157	〃	
チラシ	乳がんのセルフチェック	3,470	〃	
	がん検診	2,692	〃	
年報	事業年報	財団ホームページ掲載	〃	

(2) がん対策推進事業

がんについての正しい知識の普及と、がん検診の受診率向上をめざし、次の事業を実施した。

①滋賀県がん対策推進運動実行委員会事業

実行委員会を組織し、がんについての正しい知識を普及し、がん検診の受診行動を起こすことを目的として、実行委員会の開催および4つのプロジェクトからなる活動を実施した。

I. 滋賀県がん対策推進運動実行委員会の開催

i 第1回実行委員会

日時 令和4年7月11日(月) 14:00 ~ 15:30
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 令和4年度事業計画について
子宮頸がん・乳がん検診プレゼント事業の進捗状況について
SNSを用いた啓発企画、啓発資材の活用について

ii 第2回実行委員会

日時 令和5年3月7日(火) 14:00 ~ 15:00
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室
内容 令和4年度滋賀県がん対策推進運動事業実施結果について
次年度の活動の方向性について
協賛について
啓発資材について
がん教育スピーカーバンクについて

II. がん検診受診啓発広告プロジェクト

動画や活字での啓発メッセージを発信することにより、がんについての正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的として以下の活動を実施した。

・リビング新聞での記事掲載

月日 令和4年9月23日(金)配布分
内容 子宮頸がん・乳がん検診受診啓発に関する記事および子宮頸がん・乳がんの無料検診案内を掲載

配布数 142,755部

・京都新聞での記事掲載

月日 令和4年12月21日(水)付朝刊
内容 滋賀県健康づくり財団水田専務理事によるがんに関する正しい知識の普及とがん検診受診啓発に関する記事の掲載

・Instagramでの情報発信

Instagramでの投稿を通じて、がんについての正しい知識の情報発信を行うとともに、Instagram広告を活用した子宮頸がん・乳がんの無料検診の案内も実施した。(10月4日~9日(6日間))

・啓発資材の作成・配布

がん検診に関するリーフレット(がん検診 9,000部、乳がん 3,360部、女性がんと健康 3,360部)を作成した。

「がん検診 私にできる がん対策」のメッセージと協賛団体・実行委員会の名入れをしたマスクケース 5,500個を作成し、実行委員会構成団体が実施する啓発活動で配布した。マスクケースのイラストは滋賀県がん患者団体連絡協議会より提供いただいた。

Ⅲ. 大切な人へのお手紙プロジェクト

学習情報提供システム「におねっと」への情報掲載や、滋賀県教育委員会主催のがん教育研修会でのチラシ配布等でがん出前講座を周知し、依頼のあった学校7校で当財団の医師によるがん教育を実施した(参加人数 822名)。

がん教育を受けた児童、生徒には、家族等の大人に向けてメッセージカードを記載してもらい、がん検診に関するリーフレットと一緒に、実行委員会名入れ封筒に入れて渡して頂いた。メッセージカードは6校に合計 747枚配布した。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、7校のうち3校はオンラインを利用して実施した。

Ⅳ. がん検診ススめ隊プロジェクト

・「がん講座」の出張セミナー

当財団の医師または管理栄養士等によるがん講座の出張セミナーを働く世代を対象に下記のテーマで2回実施し、うち1回は健康づくり事業と併せて実施した。

テーマ：働く人の健康づくり「がんのことをもっと知ろう」

(1回目)

日時 令和4年10月11日(火) 9:30 ~ 10:40

場所 社会福祉法人滋賀同仁会

参加者数 滋賀同仁会職員 13名

(2回目)

日時 令和4年11月10日(木) 14:00 ~ 16:00

場所 キラリエ草津3階

参加者数 アフラック生命保険株式会社 職員・代理店職員 35名

・がん無料検診プレゼント事業

子宮頸がん・乳がん・胃がん・肺がん・大腸がん検診を無料でプレゼントし、がん検診の受診を促した。費用は日本対がん協会が発行する「がん検診無料クーポン券」を活用した。

(場所・期間)

滋賀県健康づくり財団健診センター

子宮頸がん・乳がん検診 令和4年4月~令和5年3月の検診実施日 13回

胃がん・肺がん・大腸がん検診 令和4年9月~令和5年3月の検診実施日 34回

ランチ大津京

子宮頸がん・乳がん検診 令和4年11月6日(日) 10:00 ~ 15:00

(周知方法)

がん検診受診啓発広告プロジェクトの一環として実行委員によるチラシ配布、リビン

グ新聞、インスタグラム広告、当財団ホームページへの掲載などを実施。

(実施内容)

子宮頸がん・乳がん・胃がん・肺がん・大腸がん検診、乳房セルフチェック啓発、がん関係リーフレットの配布、各市町のがん検診受診案内、がん検診に関するアンケートを実施。

(受診者数)

滋賀県健康づくり財団健診センター

子宮頸がん 96 名、乳がん 123 名、胃がん 87 名、肺がん 99 名、大腸がん 111 名
ブランチ大津京

子宮頸がん 52 名、乳がん 59 名

・びわ湖乳がん啓発ウォーク参加

乳がん患者のつどい「あけぼの滋賀」主催のウォークイベントに参加した。

(1回目)

日時 令和4年5月8日(日) 12:30 ~ 14:00

場所 JR大津駅

(2回目)

日時 令和4年10月30日(日) 12:30 ~ 14:00

場所 JR長浜駅

・「リレー・フォー・ライフ・ジャパンしが2022」への参加

がん対策活動団体とともに、がんについての知識の普及やがん検診受診率向上に向けての活動を実施した。

日時 令和4年10月15日(土)

方法 特設ホームページにて動画配信

内容 令和3年度 滋賀県がん対策推進運動実行委員会活動報告
滋賀県のがん検診について

日本対がん協会 無料がん検診のご案内

・健康しが 「MEET YOUR HEALTH～あなたらしくヘルシーに」

滋賀県健康寿命推進課 健康しが企画室が主催するイベントに参加し、「ティール&ホワイトトリボン」をテーマにブース出展をした。子宮頸がん検診の普及啓発を中心にがん検診に関する情報提供を実施し、子宮頸がんに関する啓発リーフレットとラルフローレンより日本対がん協会へ寄付頂いたハンドタオル 326 セットを配布した。

日時 令和5年2月18日(土) 11:00 ~ 17:00

開催 イオンモール草津 (セントラルコート)

内容 「ティール&ホワイトトリボン」カラーのフォトスポットで写真撮影
「#子宮頸がん検診」

「#子宮頸がん検診を受けましょう」ハッシュタグをつけて SNS 投稿
を呼びかける

「おしえて子宮頸がん検診のコト」サイネージ上映

アンケート実施

V. お知らせプロジェクト

i がん対策活動団体情報交換会の開催

滋賀県内でがん対策についての活動をしている団体同士がつながる機会が大変少ない状況であることから、お互いの活動の推進を図り、滋賀県のがん対策を推進することを目的として、情報交換会を開催した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの参加枠も設け、意見交換等を行った。

日時 令和4年9月27日(月) 10:00 ~ 12:00

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 小会議室

内容 各団体の今年度の事業予定について

令和4年度滋賀県がん対策団体・民間等自主事業費補助金について

参加団体 10 団体(うちオンライン参加8 団体)

ii がん対策活動団体への学習会

がん対策に取り組む団体に対し、有効な情報や健康に関する知識についての学習を通して、よりよい活動の促進を図るため、あけぼの滋賀と協力して乳がん患者の集いを6 回開催した。

iii がんについての情報提供

・滋賀県がん対策推進運動実行委員会ホームページの運営

啓発動画の掲載の他、構成団体や県内がん対策活動団体の活動を随時掲載するとともに、がん検診に関する各種リーフレットを更新し、ホームページへ掲載した。

また、がんやがん検診についての知識を深めていただけるよう、水田専務理事のがん教育講演を撮影した DVD を作成し、中学校1 校でがん教育として視聴していただいた。

加えて、施設内健診の受診者向けに動画を流し、受診中に視聴いただいた。

ホームページ <https://kenkou-shiga.securesite.jp/gantaisaku/>

・リーフレットの配布

がん検診を受ける際に必要な情報を掲載したリーフレットをがん教育として実施した「大切な人へのお手紙プロジェクト」で配布した(747 部 (6 校))

また施設内健診受診者に、がんに関するリーフレットを配布した。(1,544 部)

(3) 複十字シール運動募金事業

この運動は、結核・肺がん・COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの呼吸器疾患をなくすために世界80 以上で行っている活動で、100 年を超える歴史を持つ由緒ある運動である。結核をなくして健康で明るい社会をつくるために、結核予防にかかる啓発、研究、健診、検査などを行うための資金造成を図ることを目的として、厚生労働省、文部科学省、公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会の後援を得て、全国的に8 月1 日から12 月31 日の期間を中心に実施している。

この運動で募金された資金は、調査研究費、普及啓発費、事業助成費、国際協力費等に使われている。

募金額 111 件 916,642 円

①結核予防啓発活動

例年は、9月の結核予防週間の前に、駅やショッピングモールで「結核予防週間」・「複十字シール運動」ののぼり旗を掲出し、啓発資材の配布や複十字シール運動募金の呼びかけを実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、街頭啓発を中止し、大杉滋賀県副知事への表敬訪問とFMラジオのCMによる結核予防啓発および複十字シール運動募金の呼びかけを結核予防週間に実施した。

I. 大杉滋賀県副知事への表敬訪問

日時 令和4年8月29日(月) 10:00 ~ 10:15
 場所 滋賀県庁 副知事室
 内容 結核の現状報告、複十字シール運動募金開始に係る協力依頼、滋賀県地域女性団体連合会の活動報告、記念撮影
 訪問者 滋賀県地域女性団体連合会長・副会長3名
 財団役職員3名

II. FM おおつでのCM放送による啓発

日時 令和4年8月1日(月) ~ 9月30日(金)
 ※1日につき4~5回の放送
 内容 結核予防の啓発と複十字シール運動募金の周知、また結核予防週間に関する20秒CMの実施。
 視聴者 主に大津市内の住民

②結核予防事業協賛秩父宮妃記念杯における啓発活動

日時 令和5年3月12日(日) 13:00 ~ 17:00
 場所 びわこ競艇場
 内容 結核予防事業協賛によるレースの開催期間中にあわせた結核予防の啓発と複十字シール運動募金活動の実施。

③募金実績額

表 1 募金実績額の推移

(円)

	平成30年度	平成31 (令和元)年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
募金実績額	997,610	1,022,130	859,668	879,820	916,642

表2 令和4年度 募金依頼先別募金実績額

募金資材	募金依頼先	令和4年度	
		資材数	実績額
封筒セット (部)	各市町	3,550	280,498
	滋賀県	800	104,715
	滋賀県地域女性団体連合会	1,000	111,600
	老人クラブ	41	10,000
	小計	5,391	506,813
大型シール (枚)	郵送募金(個人, 会館等)	277	302,900
	組織募金(医師会)	900	62,000
	組織募金(歯科医師会)	550	19,400
	小計	1,727	384,300
小型シール (枚)	組織募金(薬剤師会)	1,150	17,000
	その他(街頭募金等)	523	8,529
	小計	1,673	25,529
合計			916,642

(4) がん検診精度管理事業

県民の健康を保持し、がんの早期発見に努めるため、精度の高い検診の実施を目的とした精度管理を行うとともに、検診従事者の育成および資質の向上をはかることにより、県民が安心してがん検診を受けられるよう体制整備を図った。

事業は、平成20年3月31日付け健総発 0331012 号厚生労働省健康局総務課長通知「健康診査管理指導等事業実施のための指針」に基づき実施した。

①がん検診検討会

がん検診検討会の中に、胃がん部会・子宮頸がん部会・乳がん部会・大腸がん部会・肺がん部会の5部会を設置し、各部会の他、5部会の部会長および保健所長との部会長会議を開催した。

I. 部会長会議

日時 令和4年9月20日(火) 16:00 ~ 18:00

場所 滋賀県庁本館4A会議室(オンライン開催)

参加者数 部会長：5名 保健所長：6名

II. 子宮頸がん部会

日時 令和4年12月9日(金) 15:00 ~ 16:20

場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)

参加者数 委員9名(委任状2名)、オブザーバー3名、傍聴者22名

III. 肺がん部会

日時 令和5年1月12日(木) 17:00 ~ 18:15

場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)

参加者数 委員11名(委任状1名)、オブザーバー2名、傍聴者24名

IV. 胃がん部会

日時 令和5年1月20日(金) 16:00 ~ 18:00
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
参加者数 委員9名、オブザーバー2名、傍聴者24名

V. 乳がん部会

日時 令和5年1月24日(火) 17:00 ~ 19:10
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
参加者数 委員11名(委任状1名)、オブザーバー2名、傍聴者25名

VI. 大腸がん部会

日時 令和5年1月25日(水) 17:00 ~ 18:15
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
参加者数 委員9名、オブザーバー2名、傍聴者21名

②がん検診従事者講習会

がん検診従事者講習会は、次の内容で実施した。

I. 第1回肺がん検診従事者講習会

日時 令和4年12月18日(日) 13:30 ~ 15:00
場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)
内容 講演 「胸部X線写真で見えるちょっとした紛らわしい所見」(正常構造、正常変異を含む)
講師 近江八幡市立総合医療センター 放射線科 部長 松尾寿保 氏
講演 「胸部X線画像を読むー肺がん検診力のブラッシュアップー読影講座」
講師 滋賀医科大学 放射線医学講座 准教授 岡田明永 氏
参加者数 99名

II. 子宮頸がん検診従事者講習会

日時 令和5年1月14日(土) 14:00 ~ 15:40
場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
内容 講演 「令和3年度滋賀県子宮頸がん検診実施状況」
講師 滋賀県精度管理事業がん検診検討会子宮頸がん部会
部会長 高橋健太郎 氏
講演 「当院における子宮頸がん検査の現状とこれから」
講師 一般財団法人住友病院 病理検査技術科 岡本秀雄 氏
参加者数 33名

III. 消化器(胃)がん検診従事者講習会

日時 令和5年3月26日(日) 9:30 ~ 11:15
場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)
内容 報告「令和3年度 胃がん検診実施状況報告」(滋賀県健康づくり財団)
症例検討①
「胃X線検診で発見された胃がん症例検討」

講師 公立甲賀病院 放射線科 部長 山崎道夫 氏

病例検討②

「対策型内視鏡検診において発見された胃がん症例検討」

講師 近江八幡市立総合医療センター 消化器内科

主任部長 赤松 尚明 氏

参加人数 59名

IV. 第2回肺がん検診従事者講習会

日時 令和5年3月26日(日) 13:30 ~ 15:00

場所 滋賀県健康づくり財団 小会議室(オンライン開催)

内容 報告 「令和3年度 肺がん検診実施状況報告」 (滋賀県健康づくり財団)
症例検討「肺がん検診で発見された症例に対する検討」

講師 滋賀県がん検診検討会肺がん部会 部会長 高橋雅士 氏

参加者数 73名

V. 乳がん検診従事者講習会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③乳がん検診マンモグラフィ読影研修会

日時 令和4年9月24日(土) 13:30 ~ 16:00

場所 ニプロ iMEPホール

内容 読影演習と解説

「県内市町が行った平成30年度対策型乳がん検診でのがん発見症例の解析」

講師 甲南病院 副院長 田中豊彦 氏

参加者数 34名

(5) 滋賀県公衆衛生学会開催事業

本県の公衆衛生に関係する多くの者が一堂に集い、日常業務を通じた調査研究活動から得られた成果を発表することにより、相互に研さんと理解を深め、本県の公衆衛生の向上に資するため、第53回滋賀県公衆衛生学会を令和5年2月8日に開催した。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催とするとともに、学会の動画を財団ホームページに掲載した。

日時 令和5年2月8日(水) 14:00 ~ 17:05

ZOOM 中継 【総合司会・事務局】 滋賀県健康づくり財団

【滋賀県知事表彰】 滋賀県庁

【特別講演】 神奈川県庁

【座長】 草津保健所長・高島保健所長 他

【発表会場】 各発表者の勤務先等

研究発表 14 演題(要旨集紙上掲載 18 演題)

特別講演 「ポストコロナへ向けた健康危機マネジメントとは何か」

講師 神奈川県理事 (医療危機対策統括官)

藤沢市民病院副院長 阿南英明 氏

参加者数 54名

学会動画掲載 財団ホームページ(滋賀県公衆衛生学会のページ)

掲載期間：令和5年2月17日(金)～令和5年4月末現在

視聴回数：62回

①研究発表

表1 第53回滋賀県公衆衛生学会演題発表一覧

○オンライン発表

【第1部】座長 荒木勇雄氏(滋賀県南部健康福祉事務所長)

演題番号	演題分類	演題名	所属名
101	感染症	新型コロナウイルス感染症の宿泊療養者を支援する体制構築に向けた保健師活動	滋賀県健康医療福祉部 感染症対策課
102	母子保健	滋賀県における新型コロナウイルス感染妊婦への体制整備について	滋賀県健康医療福祉部 健康寿命推進課
103	感染症	湖南圏域における新型コロナウイルス感染症自宅療養者と家族の療養生活時の心情と必要な支援の検討 ～第4波における新型コロナウイルス感染症自宅療養者へのインタビューから～	滋賀県南部健康福祉事務所
104	感染症	介護者・要介護者が新型コロナウイルス感染症に感染した際の課題について～介護サービスを利用していた事例の振り返りから～	滋賀県甲賀健康福祉事務所 健康危機管理係
105	地域保健・福祉	甲賀圏域入退院支援における医療機関と地域の連携上の課題～新型コロナ流行前後の変化から～	滋賀県甲賀健康福祉事務所
106	感染症	高齢者障害者入所施設におけるチェックリストを活用したCOVID-19感染拡大防止について	滋賀県湖東健康福祉事務所
107	感染症	下水処理施設における下水中新型コロナウイルスRNAの検出と感染者数の動向との関係について	株式会社 日吉

【第2部】座長 時田美和子氏(滋賀県高島健康福祉事務所主席参事)

演題番号	演題分類	演題名	所属名
201	高齢者保健福祉	滋賀県排尿支援プロジェクトの取り組み～支援者の人材育成について～	滋賀県健康医療福祉部 医療福祉推進課
202	栄養	甲賀地域における施設間の栄養情報連携のための取り組みについて	滋賀県甲賀健康福祉事務所
203	地域保健・福祉	医療機器を使用する在宅難病療養者の災害への備えの実態と課題～患者アンケート調査から～	滋賀県甲賀健康福祉事務所

204	精神保健福祉	湖北いのちのサポート事業の評価について～データや実践から見えてきた事業の効果と今後の課題～	滋賀県湖北健康福祉事務所
205	精神保健福祉	大津市精神保健福祉に関する早期介入・支援事業の効果	大津市保健所保健予防課
206	母子保健	子ども発達相談センターを利用した保護者へのアンケート調査の報告	大津市子ども発達相談センター
207	地域保健・福祉	守山野洲薬剤師会との連携による入院前持参薬鑑別の取り組みと効果について	滋賀県立総合病院薬剤部

○紙上発表

※第53回滋賀県公衆衛生学会演題募集要領の演題分類の順による

演題番号	演題分類	演題名	所属名
301	地域保健・福祉	新規健康推進員が活動意欲を持ち、活動参加できるための保健師の支援について	近江八幡市健康推進課
302	地域保健・福祉	大津市訪問看護の体制強化に向けた更なる取組	大津市保健所地域医療政策課
303	母子保健	コロナ禍における妊産婦寄り添い支援事業の現状と課題	一般社団法人滋賀県助産師会
304	母子保健	コロナ禍における乳児期前半の育児について～大津市南部地域の新生児訪問・4か月児健診のデータを基に～	大津市保健所 保健総務課 南すこやか相談所
305	母子保健	乳児への皮膚ケアの状況と保護者のアレルギーへの認識	東近江市健康推進課
306	母子保健	ハイリスク妊婦連絡票を活用した医療連携のあり方の一考察	守山市すこやか生活課
307	母子保健	大津市における1歳9か月児健診事後フォロー教室について(第1報)～教室の現状と今後に向けて～	大津市保健所健康推進課
308	母子保健	大津市における1歳9か月児健診事後フォロー教室について(第2報)～地域につなぐ保健師の役割～	大津市保健所 保健総務課 膳所すこやか相談所
309	感染症	新型コロナウイルス感染症第7波で感染し自宅・施設療養となった人の救急搬送の実態	滋賀県東近江健康福祉事務所
310	感染症	新型コロナウイルス感染症第7波における訪問介護(居宅介護)サービス提供にかかる現状および課題	滋賀県東近江健康福祉事務所
311	成人保健	滋賀脳卒中・循環器登録研究(SSHR: Shiga Stroke and Heart attack Registry)の採録活動と課題	滋賀医科大学脳神経外科学講座 脳卒中データセンター
312	臨床検査	滋賀県臨床検査技師会精度管理事業における尿定性検査の精度管理の現状	彦根市立病院
313	環境保健	滋賀県における光化学オキシダントとVOCの濃度変動について	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
314	健康教育・健康づくり	湖西圏域における職域での腰痛改善事業の取組み～高島市リハビリ連携協議会と協働～	滋賀県高島健康福祉事務所

315	高齢者保健福祉	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業における取り組み～口腔機能低下予防事業について(第二報)～	大津市長寿政策課地域包括ケア推進室
316	高齢者保健福祉	入退院支援における病院と介護支援専門員の連携に新型コロナウイルス感染症が与えた影響について	滋賀県東近江健康福祉事務所
317	その他	次世代を担う子供たちの環境研修会への技術支援	株式会社 日吉
318	その他	滋賀県下の高等学校におけるプレコンセプションケア教育の実施と評価 ～大学生によるピア効果を用いた試み～	一般社団法人滋賀県助産師会

表2 第53回滋賀県公衆衛生学会演題分類別演題一覧

演題分類	演題数	演題分類	演題数
母子保健	8	環境保健	1
高齢者保健福祉	3	健康教育・健康づくり	1
感染症	7	成人保健	1
臨床検査	1	精神保健福祉	2
地域保健・福祉	5	栄養	1
その他	2		
合計			32

②公衆衛生事業功労者表彰

多年にわたり公衆衛生事業に取り組み、地域住民の保健衛生活動や保健衛生知識の普及活動等に尽力され、健康づくりに多大な功労のあった個人と団体を滋賀県公衆衛生学会において表彰した。

受賞者 知事表彰 (個人) 樋上雅一 氏 ほか6名
(団体) なし
理事長表彰 (個人) 足立徹 氏 ほか9名
(団体) 愛荘町健康推進員協議会

表3 令和4年度公衆衛生事業功労者受賞者一覧(知事表彰)

(個人)

(敬称省略・五十音順)

氏名	職種	表彰事由
樋上雅一	医師	勤務医および開業医として、地域住民の疾病予防と健康管理に努め、今日に至るまで地域のかかりつけ医として地域医療に尽力してきた。草津栗東医師会の役員として、休日急患診療所の運営や定期予防接種事業など、地域住民のための医療提供と健康増進に尽力した。また、滋賀県医師会の役員として、学校保健、がん対策担当として医師会事業等に尽力し、以て地域医療・福祉に貢献した。
金田成煥	歯科医師	昭和59年10月のかねだ歯科医院開設以来、今日まで歯科医業に専念し、地域歯科医療の発展および公衆衛生事業の推進に努めた。この間、滋賀県歯科医師会理事、同湖南支部理事・副支部長、支部長等多くの要職に就き、公衆衛生事業の推進に尽力するとともに、県民の健康な歯の保持増進および歯科保健水準の向上ならびに口腔衛生思想の普及啓発に貢献した。

中島 滋美	医師	平成10年に社会保険滋賀病院（現（独）地域医療推進機構滋賀病院）の消化器科部長に就任して以来、ピロリ菌外来の開設を通して消化器疾患患者の医療に積極的に取り組んできた。温厚篤実にして衆望厚く、常に医学に対する研鑽を怠らず、長年にわたり地域の医療活動を積極的に推進するとともに、地域住民の健康増進、疾病予防へも意欲的に取り組み、病院の医療水準の向上を図り、地域医療の発展に貢献した。
山田 幸枝	健康推進員	永年にわたり地域の健康づくりのリーダーとして、日野町民の食生活改善をはじめとした健康づくり活動に積極的に取り組み、健康意識の向上に寄与した。滋賀県健康推進員団体連絡協議会の副会長として県下の健康づくりの啓発等に尽力した。現在も地区リーダーとして地域に根付いた健康推進活動を実践し、後輩の育成や指導に取り組んでいる。部会活動にも積極的に参画し、あらゆる世代に応じた健康づくりの啓発等を行っている。
木村 昌之	柔道整復師	柔道整復師免許を取得以来35年余、柔道整復術を駆使し、健康保持増進と疾病予防、健康寿命の延伸に尽力し、地域住民から厚い信頼を得ている。また滋賀県柔道整復師会の監事として会の公益社団法人化を導いた。地域で開催されるスポーツ大会等では救護・トレーナーのボランティア活動に従事し、救護活動とあわせて機能訓練、健康相談等を行い、地域の住民から厚い信頼を得ている。
北川 孝博	浄化槽検査員	昭和60年に社団法人滋賀県浄化槽協会（平成25年4月から公益社団法人滋賀県生活環境事業協会に改称）の検査員として入社以来、県下唯一の検査機関の検査員の中核として豊富な知識と経験に基づいて、浄化槽の法定検査および適正管理の普及啓発など浄化槽事業一筋に精励している。各家庭や事業所の浄化槽からの生活排水が適正に処理されるよう地道な努力を続け、公共用水域の水質保全と公衆衛生の向上に貢献している。
西村 精児	臨床検査技師	近江八幡市立総合医療センター輸血管理部門、臨床検査部門において臨床検査技術の向上や後進指導に尽力し、情報管理部門において検体検査および電子カルテのシステム構築に尽力した。臨床検査室のISO認定取得時は品質管理者として国際基準に則った検査実施に寄与した。公益社団法人滋賀県臨床検査技師会では研修会で後進を指導し、県民向けの公開講座や検査展に参画して、広く県民の健康増進や疾病予防、公衆衛生の発展に貢献した。

団体なし

表 4 令和4年度公衆衛生事業功労者受賞者一覧（公益財団法人滋賀県健康づくり財団理事長表彰）
 （個人） （敬称省略・五十音順）

氏名	職種	表彰事由
足立 徹	臨床検査技師	滋賀県健康づくり財団において新生児先天性代謝異常スクリーニング検査に従事し、県内新生児の先天性代謝異常の早期発見に寄与した。現在は済生会滋賀県病院において臨床検査業務に携わり、患者サービスと疾病予防に努め、県民の健康保持、増進に貢献している。また、滋賀県臨床検査技師会理事として、市町が開催する健康フェスティバル等に積極的に参画し、健康保持増進、予防医療等を啓発している。
上船 須磨子	歯科衛生士	永年にわたり歯科医院に勤務し乳幼児から高齢者を対象とした歯科保健指導を意欲的に実施し、歯科疾患の予防啓発に努めた。また、地域歯科医師会の在宅医療連携室や、高齢者向けサロンに参加協力し、地域住民の歯科保健水準の向上に尽力した。さらに、滋賀県歯科衛生士会役員として、口腔衛生啓発活動を通じて県民の歯科保健水準の向上、歯科保健知識の普及啓発に貢献した。
小河 秀郎	医師	公立甲賀病院において脳神経内科の医師として、24時間365日地域の救急患者の受け入れを行い、地域の救急医療を現場の第一線で支えてきた。また、滋賀県難病医療連携協議会委員として、滋賀県内の難病医療やケアの充実のため研修や情報交換を行っている。さらに、認知症サポート医としてかかりつけ医への助言等の支援を行うとともに、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となっている。
白石 制	医師	昭和51年の白石外科開設以来、地域住民の疾病予防と健康管理に努め、地域のかかりつけ医として地域医療に尽力してきた。学校医としても児童・生徒の健康管理に尽力してきた。また、彦根医師会役員として、21年間にわたり医師会活動に注力し、健診業務や予防接種事業を通して地域住民の健康増進に貢献するとともに、彦根休日急病診療所の新築移転に伴い初期救急体制の確立に貢献した。
堤 しづか	助産師	行政所属の助産師として新生児訪問事業を担当し、乳児家庭訪問・母子保健指導等の活動に貢献してきた。また自ら助産院を開業し、妊娠期から分娩・産後を通し母子への支援に活躍している。さらに滋賀県助産師会では、保健指導部会長、災害対策委員長として保健指導教育の企画運営や緊急連絡網の確立に携わるほか、コロナ禍における妊産婦への寄り添い支援の軸を担っている。

中西 直子	管理栄養士	滋賀医科大学医学部附属病院に入職以来、患者給食および生活習慣病に関する栄養指導を始めとする栄養管理に永年にわたり従事するとともに、栄養指導システムの立ち上げや患者への栄養教育の実施、メディカルスタッフの育成等に寄与してきた。 また滋賀県栄養士の役員として栄養士、管理栄養士の生涯学習の企画運営に貢献するとともに、糖尿病患者の教育支援、糖尿病療養指導者の育成に尽力している。
古山 忠宏	診療放射線技師	市長長浜病院において永きにわたり放射線画像検査、放射線治療などの業務に従事し、がんの早期発見、早期治療等に寄与し、地域住民の保健や公衆衛生の向上に貢献してきた。また、滋賀県診療放射線技師会の役員として、講習会の開催等により診療放射線技師の資質向上に寄与するとともに、がんの早期発見の重要性等に関する県民向けの啓発活動を実施するなど、公衆衛生の向上に努めてきた。
前田 剛伸	柔道整復師	26年の多年にわたり、機能回復訓練指導を含め、地域住民の健康保持増進と疾病予防、健康寿命の延伸に尽力している。また、健康づくりイベント等に参画し接骨相談を行う等、地域住民の健康保持増進に努めた。 滋賀県柔道整復師会役員としては、各種スポーツ大会等における救護トレーナーのボランティア活動のほか、小学生柔道大会の委員長として青少年の健全な育成に尽力している。
諸頭 智彦	歯科医師	開業歯科医として、地域歯科医療活動に従事し、早期発見・治療の予防啓発に努め、子どもから高齢者までの地域住民に対し、歯科保健水準の向上および公衆衛生事業の積極的な推進に貢献してきた。また、滋賀県歯科医師会および同湖南支部の役員として、「8020運動」の推進および生涯歯科保健対策の推進に尽力し、県民の健康な歯の保持増進および歯科保健水準の向上ならびに口腔衛生思想の普及啓発に尽力した。
吉田 環	理学療法士	理学療法士として、呼吸器科医師と協力し呼吸リハビリテーションを含む包括的な呼吸管理をめざし、平成18年に滋賀COPD管理講習会を立ち上げた。それ以降、歯科医師、栄養士等他職種を巻き込みながら毎年開催し、呼吸器リハビリテーションの普及に貢献してきた。また、理学療法士会役員として、地域リハビリテーションの普及や地域包括ケアの推進、理学療法士の職業倫理の指導に尽力した。

(団体)

団体名	事業継続年数	代表者名	表彰事由
愛荘町健康推進員協議会	16	会長 西村ふき子	子育て支援センターの開設に合わせて、離乳食づくり等を通して食育活動を行い、また歯磨きの大切さやおやつについての啓発も実施した。また、ショッピングセンターでは、野菜のレシピの配布や野菜料理の展示や試食を行うなど野菜摂取のアドバイスを行った。滋賀県立大学や聖泉大学とコラボし、健康レシピ集の冊子や「愛荘びんてまり体操」のDVDを作成する等、地域住民の意識や公衆衛生の向上に寄与した。

※事業継続年数は、R5.2.8現在

(6) 特定健診・特定保健指導実践者育成研修事業

生活習慣病予防のための行動変容に確実につながる保健指導を展開することができるよう「標準的な健診・保健指導プログラム」をふまえた保健指導を効果的に推進できる人材を養成することを目的とし、研修を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、感染拡大防止対策を実施の上、基礎編・応用編を4日間実施し、修了者全員に修了証を発行した。

【1日目】

日時	令和4年7月26日(火)	
	基礎編	10:00 ~ 12:30
	基礎編・応用編共通	13:30 ~ 17:00
場所	滋賀県健康づくり財団 大会議室	
参加者数	基礎編	48人(会場2人、オンライン46人)
	基礎編・応用編共通	57人(会場2人、オンライン55人)

【2日目】

日時	令和4年8月3日(水) 基礎編 10:00 ~ 16:40	
場所	滋賀県健康づくり財団 大会議室	
参加者数	48人(会場2人、オンライン46人)	

【3日目】

日時	令和4年8月18日(木)
	基礎編・応用編共通 10:00 ~ 12:00
	基礎編 13:00 ~ 16:00
場所	ニプロ iMEP ホール
参加者数	基礎編・応用編共通 56人
	基礎編 47人

【4日目】

日時	令和4年8月25日(木)
	応用編 10:00 ~ 17:00
場所	ニプロ iMEP ホール
参加者数	14人

・4日間を通じての実参加者数

62人（保健師36人、看護師2人、管理栄養士22人、歯科衛生士2人）

・修了者数

基礎編39人（保健師20人、管理栄養士16人、看護師2人、歯科衛生士1人）

応用編12人（保健師7人、管理栄養士5人）

(7) 健診（検診）相談事業

健診（検診）の受診等に関する疑問や相談、さらには検査結果等を踏まえた対応など受診者の適切な判断や不安等の解消のため、コメディカルスタッフが受診者に分かりやすく説明する相談窓口を設置し、電話対応を行った。

電話番号 077-536-5218（平日9:00~17:00）

電話対応件数 22件

内訳	健診(検診)の受診に関すること	1件
	健診(検診)受診の結果に関すること	17件
	健診(検診)受診後の症状に関すること	1件
	家族の健康に関すること	3件

2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業

(1) 特定健診・特定保健指導事業

(2) 結核健診事業

(3) がん検診事業

(4) 検査事業

(5) 健診結果分析評価事業

(6) 健康づくり事業

2. 結核・がん・その他の疾病の予防および健康づくりのための健診（検診）、検査および保健指導等を推進する事業

(1) 特定健診・施設内健診・特定保健指導事業

県民の疾病予防と健康づくりのため、巡回健診や特定健診を市町・保険組合や保険者の依頼に応じて実施した。

また、特定健診結果から生活習慣病（特に内臓脂肪症候群）のリスクが高く、生活習慣の改善により高い予防効果が期待できる受診者に対して、動機づけ支援や積極的支援などの保健指導を通じ、生活習慣を見直すサポートを実施した。

①一般健診事業

健康増進法、健康保険法、国民健康保険法、高齢者医療確保法、感染症法、学校保健安全法、労働安全衛生法、共済組合法等に基づき、市町や事業所が実施する健診を受託し、県民の疾病の発見、予防に資する保健サービスを提供した。

令和4年度一般健診実績者数は26,454人であり、前年度実績者数と比べ3,881人の減であった。

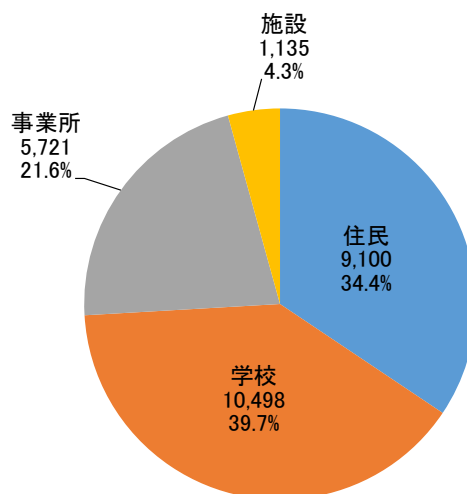
また、そのうち特定健診受診者が7,465人、後期高齢者健診受診者が300人であった。（但し、肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者を除く）

表1 一般健診実績表（特定検診・定期検診等含む）実施状況（団体別）

※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者数除く

団体区分	一般健診		特定健診（再掲）		後期高齢（再掲）	
	団体数	実施人数	団体数	実施人数	団体数	実施人数
住 民	11	9,100	8	7,126	2	299
学 校	124	10,498	0	0	0	0
事 業 所	208	5,721	2	339	0	0
施 設	21	1,135	0	0	1	1
合 計	364	26,454	10	7,465	3	300

図1 一般健診（特定健診・定期健診等含む）実施状況（団体区分別）



364団体26,454人に実施。うち、特定健診は10団体7,465人、後期高齢は3団体300人であった。

表2 一般健診（特定健診・定期健診等含む）実施状況（性別・年齢別）

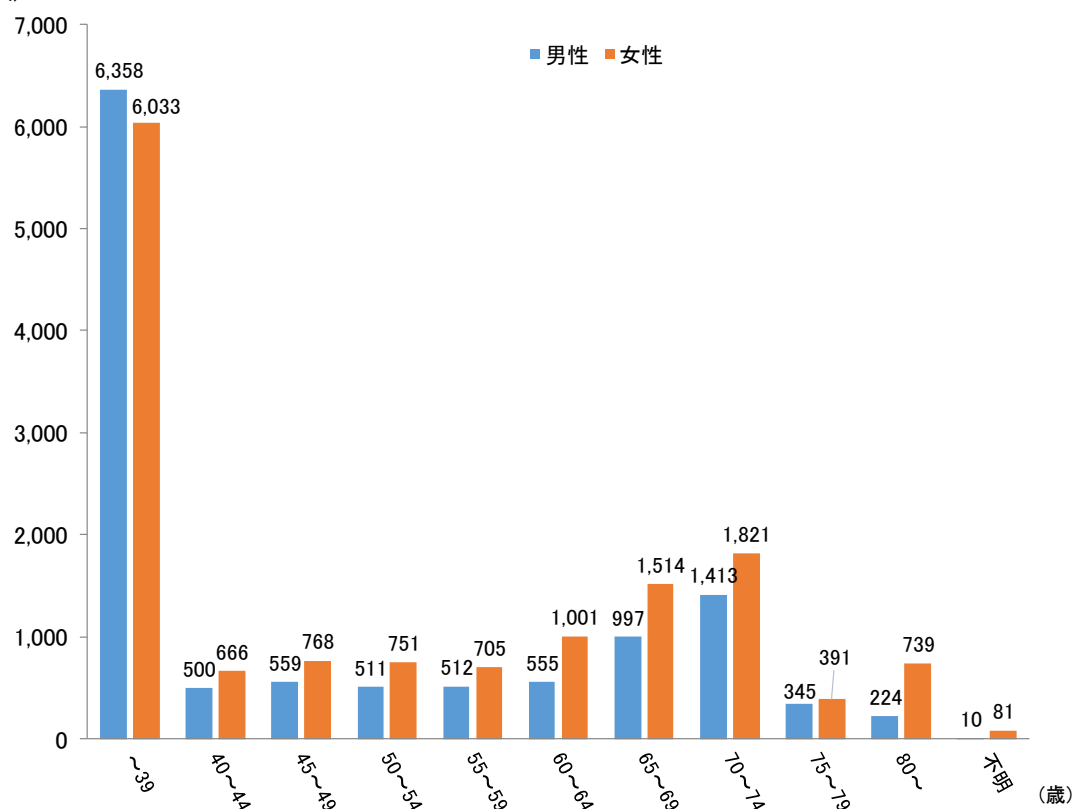
※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者、年齢性別不明を除く

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	不明	合計
男性	6,358	500	559	511	512	555	997	1,413	345	224	10	11,984
女性	6,033	666	768	751	705	1,001	1,514	1,821	391	739	81	14,470
合計	12,391	1,166	1,327	1,262	1,217	1,556	2,511	3,234	736	963	91	26,454

図2 一般健診（特定健診・定期健診等含む）実施状況（性別・年齢別）

(人)



性別では女性が男性より多く、年齢別では男女ともに39歳以下、70～74歳、65～69歳の順に多かった。

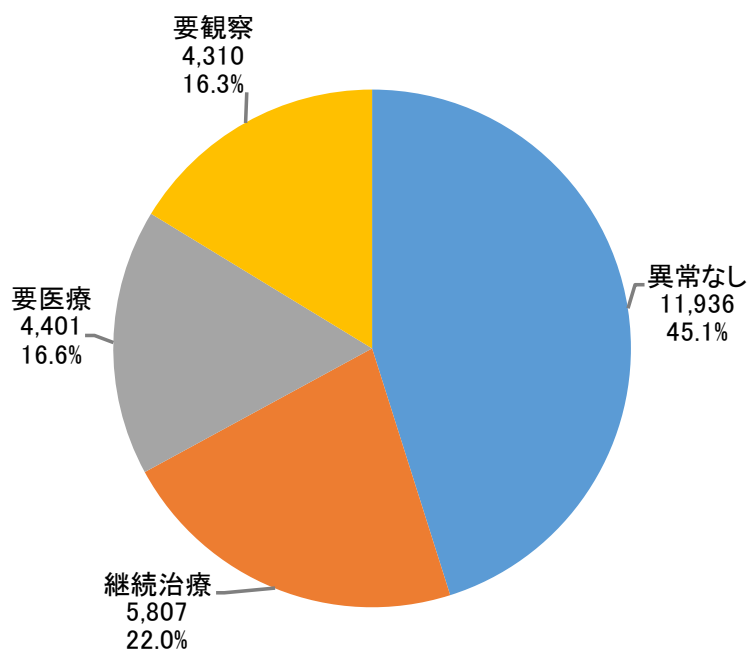
表3 一般健診実績表(特定健診・後期高齢・定期健診等含む) (団体・指導区分別)

※肝炎検査単独・生活機能評価単独受診者、指導区分不明を除く

(人)

市町名、事業所名	受診者数	指導区分			
		異常なし	継続治療	要医療	要観察
市町	9,100	1,050	3,766	2,451	1,833
日野町 竜王町 彦根市 豊郷町 甲良町 多賀町 東近江市 米原市	742	59	304	188	191
	509	109	178	122	100
	1,633	168	675	438	352
	417	43	187	119	68
	558	110	246	130	72
	188	36	72	49	31
	2,835	226	1,201	865	543
	2,218	299	903	540	476
事業所等	17,354	10,886	2,041	1,950	2,477
総数	26,454	11,936	5,807	4,401	4,310

図3 一般健診(特定健診・定期健診等含む)実施状況(指導区分別)

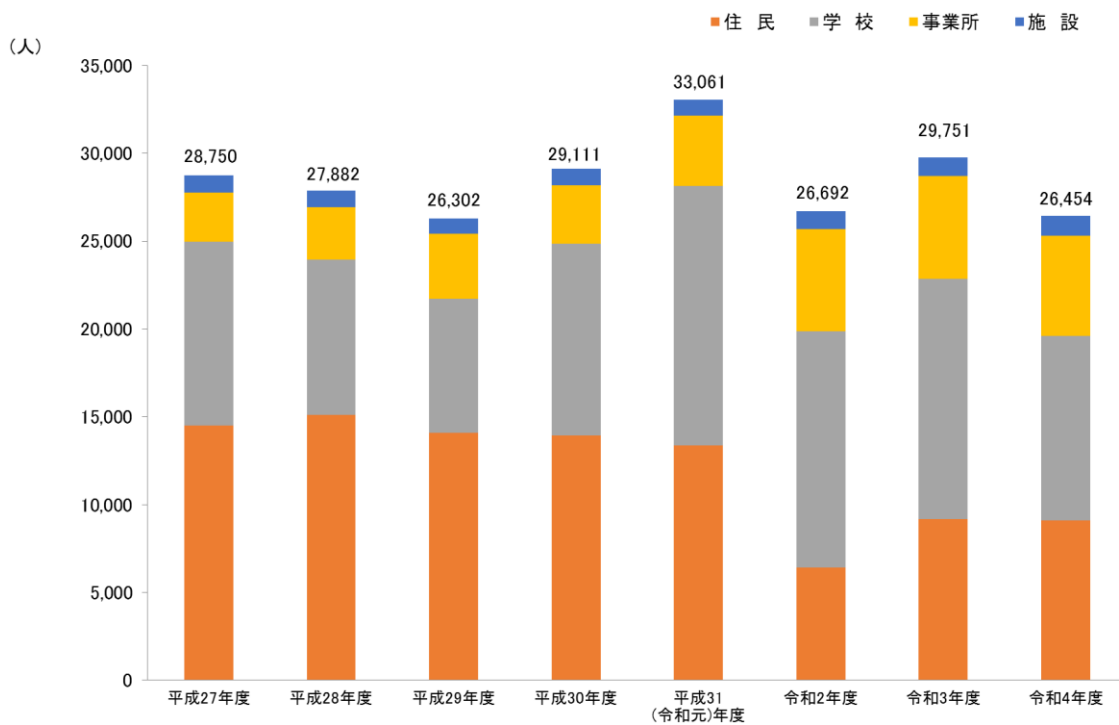


受診総数 26,454 人のうち、要医療（要受診）と要観察で約3割を占めている。

表4 一般健診実施状況の経年比較

団体区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		成31(令和元)年		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	14,487	10	15,093	9	14,077	12	13,926	10	13,370	11	6,402	9	9,168	10	9,100	11
学 校	10,475	26	8,837	26	7,636	28	10,934	83	14,752	118	13,457	130	13,685	141	10,498	124
事業所	2,808	93	2,996	97	3,708	111	3,332	86	4,005	120	5,831	172	5,838	194	5,721	208
施 設	980	16	956	16	881	15	919	16	934	16	1,002	18	1,060	20	1,135	21
合計	28,750	145	27,882	148	26,302	166	29,111	195	33,061	265	26,692	329	29,751	365	26,454	364

図4 一般健診実施状況の経年比較



近年の受診者数は、徐々に増加していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により住民健診の中止や延期等で前年度より大幅な減少となった。令和3年度は、住民健診で持ち直したもののまだコロナ前の数字までは回復しなかった。令和4年度は新型コロナウイルスの影響に加え、学校健診の失注等により受診者数は減少した。

②施設内健診

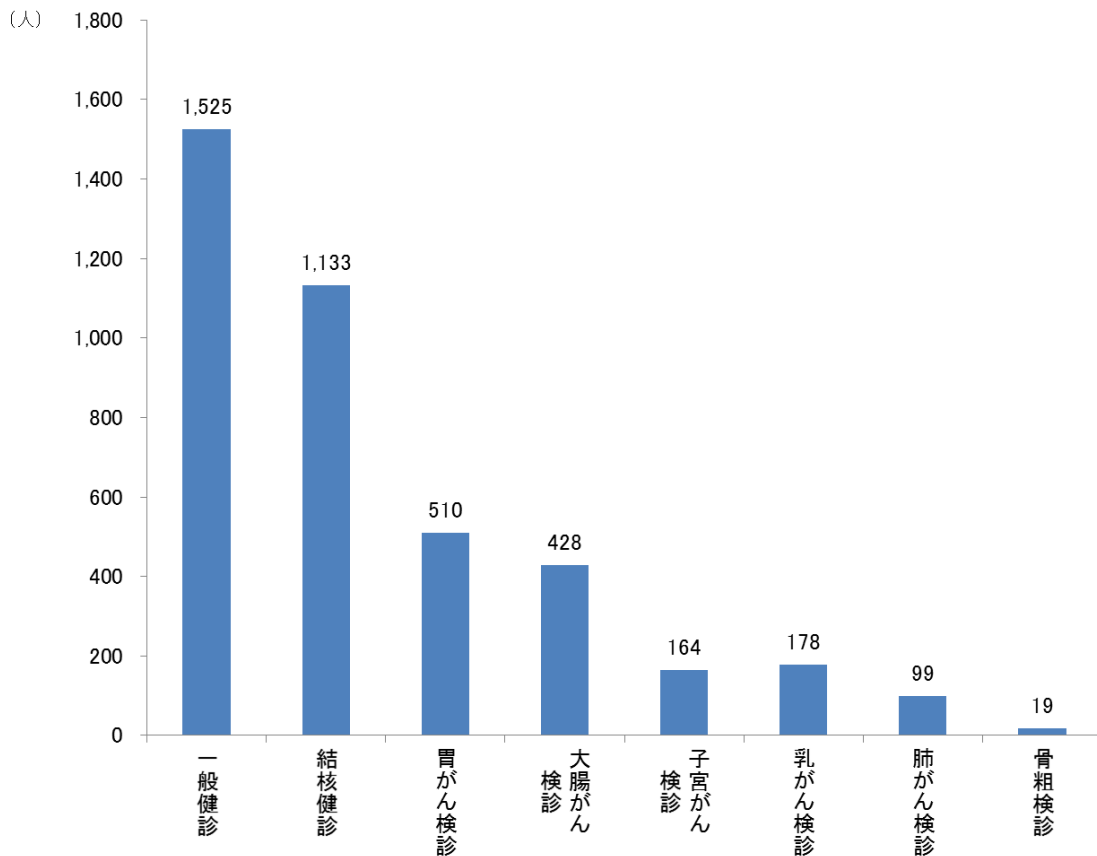
県民の健康づくりの一助となることを目的として、財団施設内において、全国健康保険協会
の生活習慣病予防健診、高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく特定健康診査および特定
保健指導、労働安全衛生法に基づく健康診断・検査を実施した。令和4年度施設内健診実績者
数は1,525人であった。

健診予約フリーダイヤル : 0120-842-489 (平日9:00~17:00)

表1 施設内健診実施状況(検診別内訳) (再掲)

項目	一般健診	結核健診	胃がん検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	乳がん検診	肺がん検診	骨粗検診
受診人数	1,525	1,133	510	428	164	178	99	19

図1 施設内健診実施状況(検診別内訳)

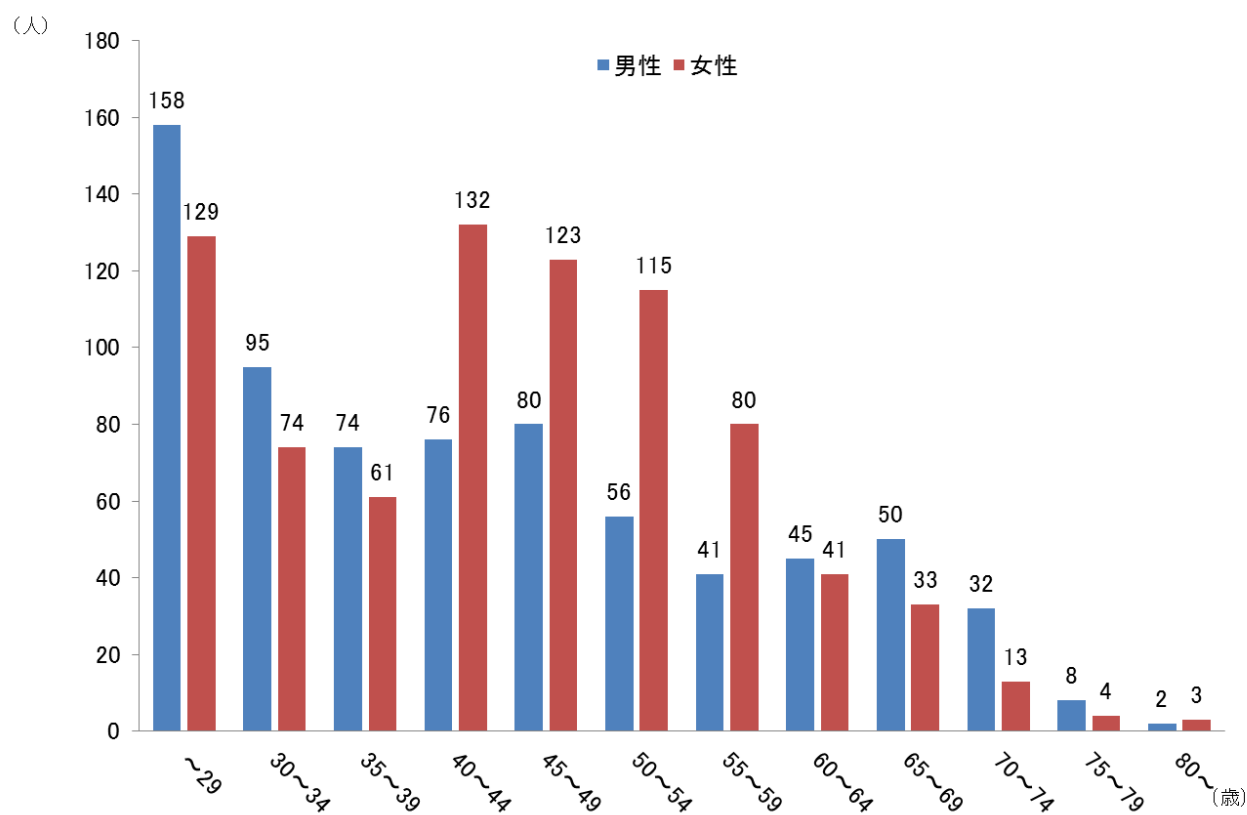


施設内健診での項目は、一般健診、結核健診、大腸がん検診の順に多かった。

表2 施設内一般健診健診性別年齢別実績表（一般健診）

年齢階層	～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	158	95	74	76	80	56	41	45	50	32	8	2	717
女性	129	74	61	132	123	115	80	41	33	13	4	3	808
男女計	287	169	135	208	203	171	121	86	83	45	12	5	1,525

図2 施設内健診性別年齢別実績（一般健診）



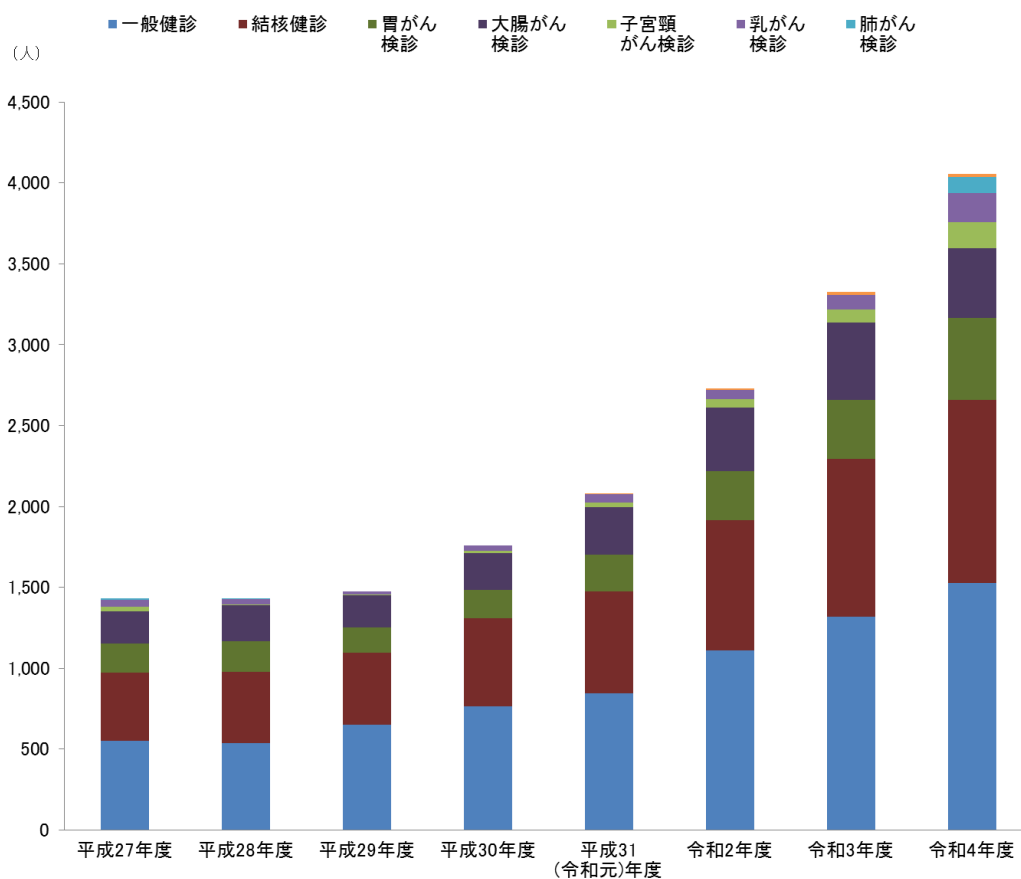
性別では、女性が男性より多く、年齢別では男性で29歳以下、30～34歳、45～49歳の順に多く、女性が40～44歳、29歳以下、45～49歳の順に多かった。

表3 施設内健診実施状況の経年比較

(人)

年度	一般健診	結核健診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮頸 がん検診	乳がん 検診	肺がん 検診	骨粗検診
平成27年度	552	422	178	198	31	42	7	0
平成28年度	536	442	187	224	4	34	2	0
平成29年度	650	443	160	196	4	20	0	0
平成30年度	761	549	174	227	14	34	0	0
平成31 (令和元)年度	844	630	229	292	28	54	0	1
令和2年度	1,107	809	302	395	50	55	0	11
令和3年度	1,318	974	367	476	81	94	0	15
令和4年度	1,525	1,133	510	428	164	178	99	19

図3 施設内健診実施状況の経年比較



令和4年度は、主に日本対がん協会提供のがん検診クーポンの枚数が増加したことによりすべての検診で受診者数が増加した。

③特定保健指導事業

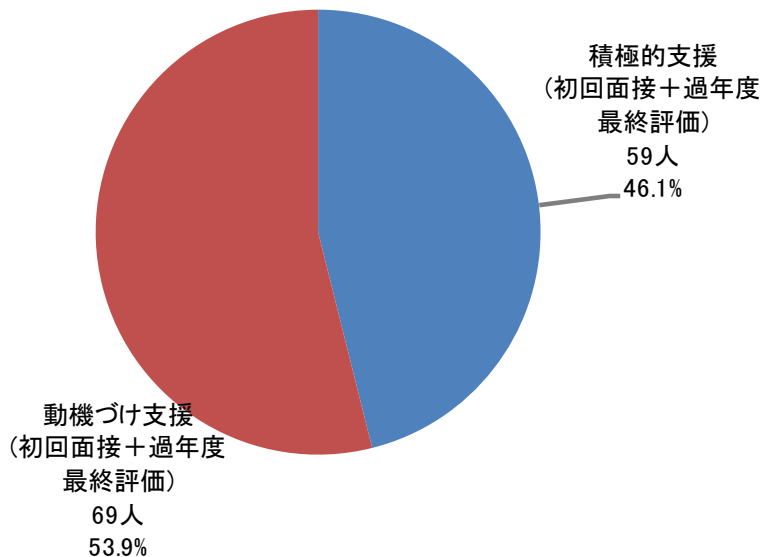
巡回健診や施設内健診を通じて特定健診に基づく保健サービスを実施した。また、特定健診結果から生活習慣病のリスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる人達に対して、動機づけ支援や積極的支援など保健指導を通じ、生活習慣病を見直すサポートを実施した。

令和4年度特定保健指導実績者数は128人であった。また、そのうち令和4年度支援者は積極的支援が33人、動機づけ支援が51人で、過年度継続支援者は積極的支援が26人、動機づけ支援が18人であった。

表1 特定保健指導実施状況（指導区分別）

指導区分	受診者数
積極的支援（初回面接）	33人
過年度積極的支援（最終評価）	26人
小計	59人
動機づけ支援（初回面接）	51人
過年度動機づけ支援（最終評価）	18人
小計	69人
合計	128人

図1：特定保健指導実施状況（指導区分別）



動機づけ支援が53.9%、積極的支援が46.1%であった。

④その他保健指導事業

守山市慢性腎臓病重症化予防事業

守山市より委託を受け、対象者の重症化を防ぎ、人工透析への移行を遅らせるため、保健指導を実施した。

- ・面接予定者 9 名に対し、面接実施者 9 名（支援修了者 9 名）
- ・電話支援のべ 45 回

(2) 結核健診事業

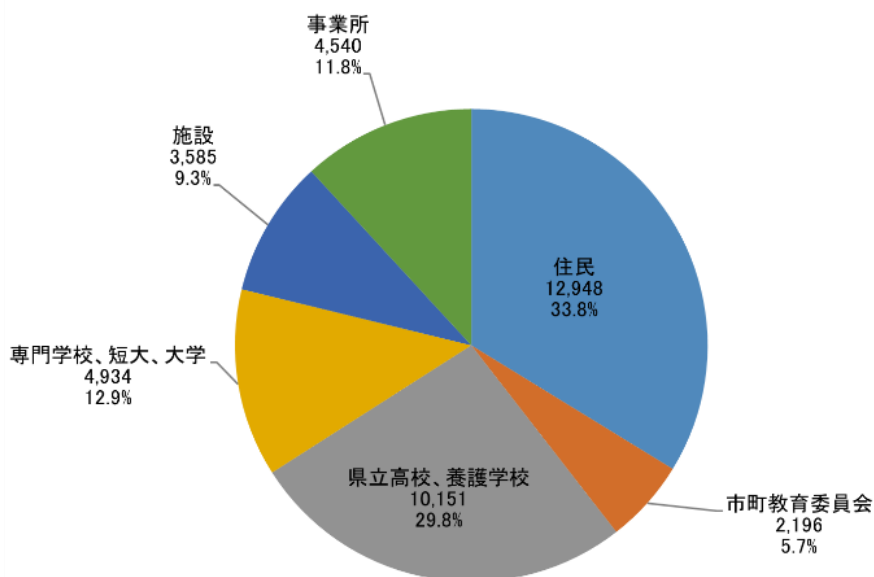
結核罹患率は漸減傾向にあるが、今日においても我が国最大級の感染症である。発病者の早期発見等のため、胸部エックス線デジタル撮影により結核健診を実施した。また、特別養護老人ホーム等の施設健診においては、ストレッチャー、車いすでの撮影が可能なリフト検診車を配車し、受診者の状況に対応した健診を実施した。

令和 4 年度結核健診実績者数（肺がん検診同時実施分含む）は 38,354 人であり、前年度実績者数と比べ 1,233 人の増であった。

表1 結核健診実施状況（団体区分別）

団体区分	団体数	実施人数	区分								読影なし
			精検不要	肺活動核性	核非活動性	循環器疾患	要その他	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	
住 民	10	12,948	4,495	1	104	9	13	354	8	7,965	0
市町教育委員会	100	2,196	391	0	3	0	2	17	0	1,783	0
県立高校、養護学校	70	10,151	655	0	6	2	16	1	0	9,472	0
専門学校、短大、大学	9	4,934	402	0	2	0	2	0	0	4,528	0
施 設	71	3,585	1,448	1	111	7	9	134	3	1,745	127
事 業 所	208	4,540	897	0	20	2	3	47	0	3,540	29
合計	468	38,354	8,288	2	246	20	45	553	11	29,033	156

図1 結核健診実施状況（団体区分別）

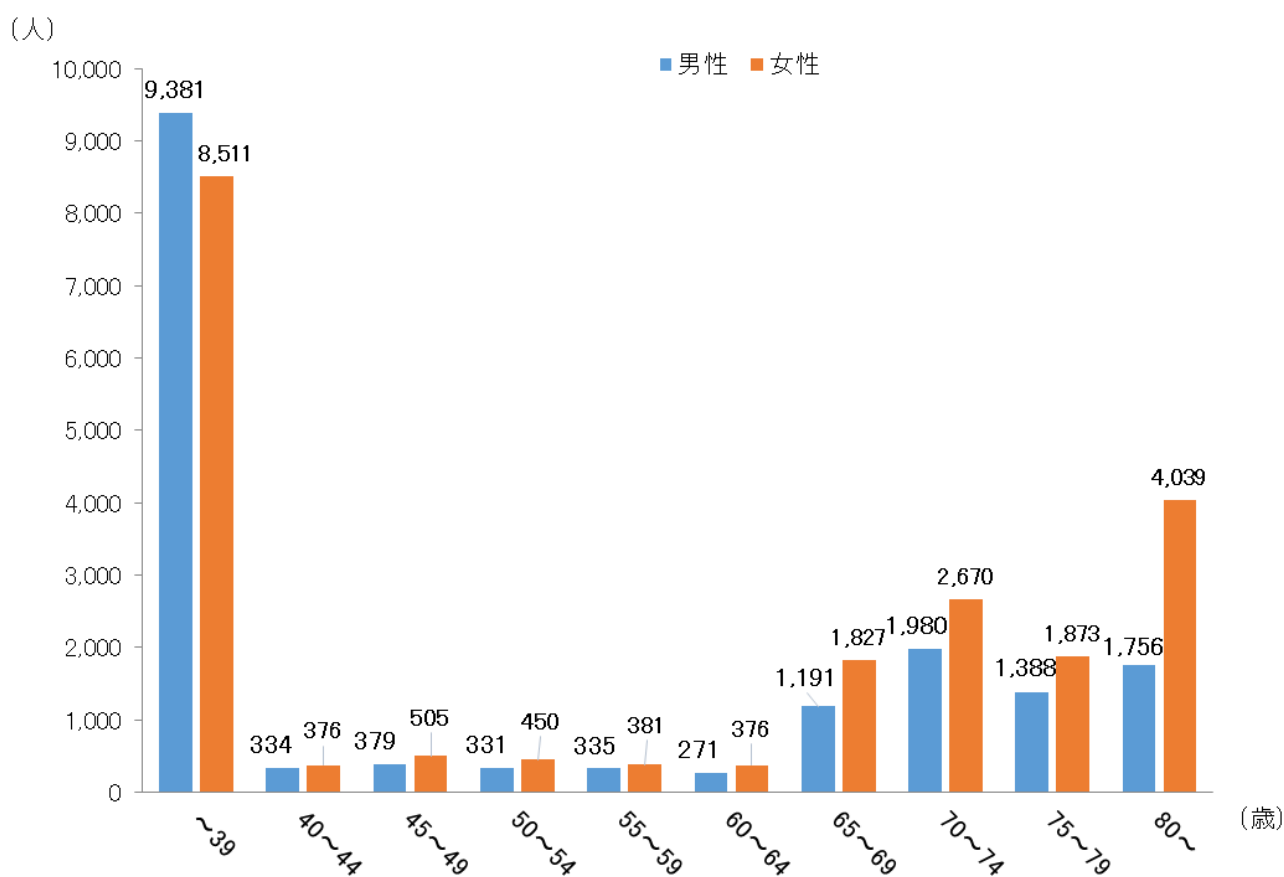


468 団体 38,354 人が受診し、うち、精検不要・異常なし・読影なしを除くと、877 人に所見が見られた。

表2 結核健診実施状況（性別・年齢別）

(人)											
性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	9,381	334	379	331	335	271	1,191	1,980	1,388	1,756	17,346
女性	8,511	376	505	450	381	376	1,827	2,670	1,873	4,039	21,008
合計	17,892	710	884	781	716	647	3,018	4,650	3,261	5,795	38,354

図2 結核健診実施状況（性別・年齢別）

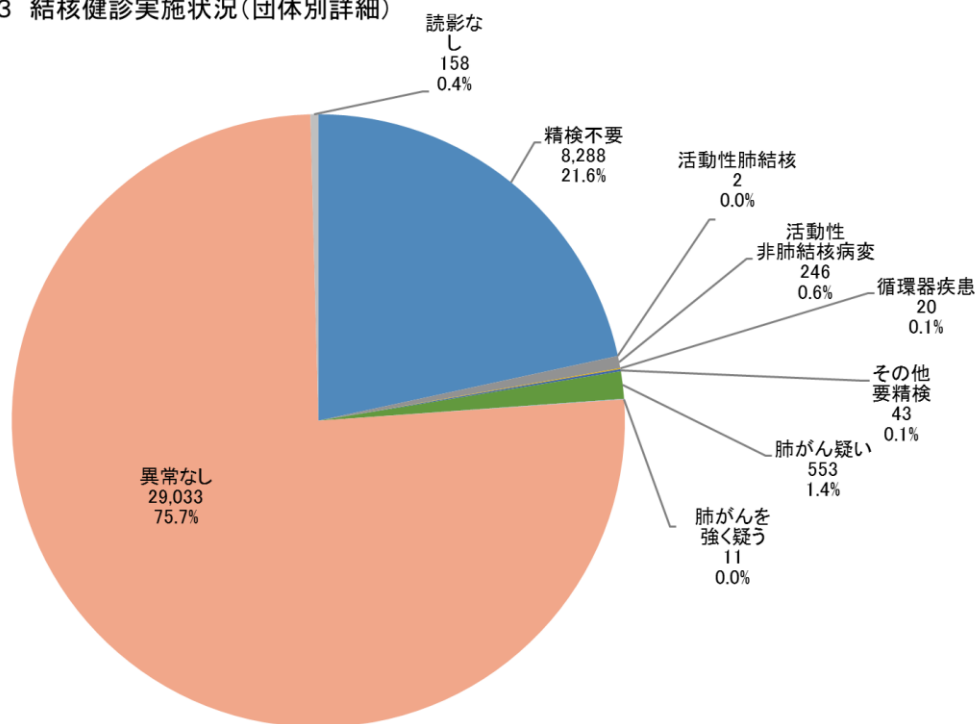


性別では女性が男性より数が多く、年齢別では男性で39歳以下、70～74歳、80歳以上の順に多く、女性が39歳以下、80歳以上、70～74歳の順に多かった。

表3 結核健診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	精検不要	活動性肺結核	活動性非肺結核病変	循環器疾患	その他要精検	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	読影なし	1日あたりの受診人数
市町	192	12,948	4,495	1	104	9	12	354	8	7,965	0	67.44
粟東市	13	355	115	0	4	0	1	13	0	222	0	27.31
日野町	15	1,954	579	0	14	6	1	39	0	1,315	0	130.27
竜王町	7	271	105	0	4	0	0	8	0	154	0	38.71
彦根市	41	1,493	585	0	9	1	1	46	2	849	0	36.41
豊郷町	10	616	263	0	7	1	3	21	0	321	0	61.60
甲良町	9	733	252	0	4	0	0	24	1	452	0	81.44
多賀町	9	560	187	0	6	0	0	17	0	350	0	62.22
東近江市	43	2,208	912	1	27	1	2	80	1	1,184	0	51.35
米原市	36	2,750	903	0	14	0	4	69	1	1,759	0	76.39
愛荘町	9	2,008	594	0	15	0	0	37	3	1,359	0	223.11
市町教育委員会	353	2,196	391	0	3	0	2	17	0	1,783	0	6.22
県立高校・養護学校	137	10,151	655	0	6	2	15	1	0	9,472	0	74.09
専門学校・短大・大学	30	4,934	402	0	2	0	2	0	0	4,528	0	164.47
施設	73	3,585	1,448	1	111	7	9	134	3	1,745	127	49.11
事業所	213	4,540	897	0	20	2	3	47	0	3,540	31	21.31
総数	998	38,354	8,288	2	246	20	43	553	11	29,033	158	38.43

図3 結核健診実施状況（団体別詳細）

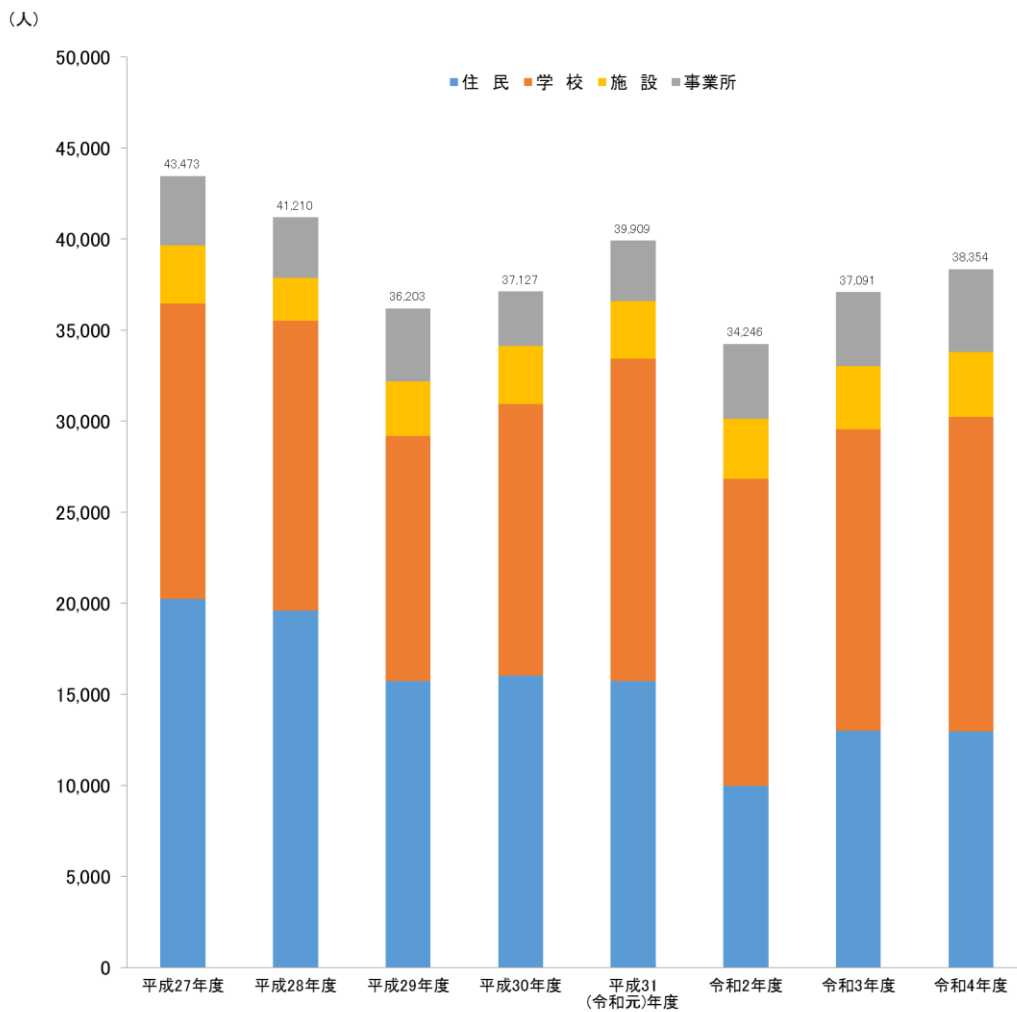


延べ 998 日にわたり 38,354 人に実施した。

表4 結核健診実施状況の経年比較

団体区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	20,247	10	19,583	4	15,734	10	16,020	10	15,710	11	9,959	10	13,012	10	12,948	10
学 校	16,213	80	15,935	80	13,447	77	14,916	156	17,703	169	16,861	165	16,552	179	17,281	179
施 設	3,207	77	2,357	77	3,007	56	3,212	60	3,162	63	3,299	66	3,464	70	3,585	71
事 業 所	3,806	162	3,335	162	4,015	154	2,979	87	3,334	114	4,127	173	4,063	190	4,540	208
合 計	43,473	329	41,210	323	36,203	297	37,127	313	39,909	357	34,246	414	37,091	449	38,354	468

図4 結核健診実施状況の経年比較



令和4年度は前年度に続き、令和2年度の新型コロナウイルス感染症の蔓延による減少から持ち直しつつある。

(3) がん検診事業

がんは、日本人の死因のトップであり、なお増え続けている状況にある。滋賀県がん対策推進計画に基づき、県民に対してがんに関する正しい知識の普及、啓発を図り、がんの早期発見に努めるため、国の定める以下の5部位のがん検診を実施した。

また、令和5年3月に乳がん検診車(らら号)マンモグラフィ2室のうち、1室を子宮がん検診室としし稼働できるよう子宮内診用ベッドを設置し、「婦人科検診車」として改装を行った。

①胃がん検診

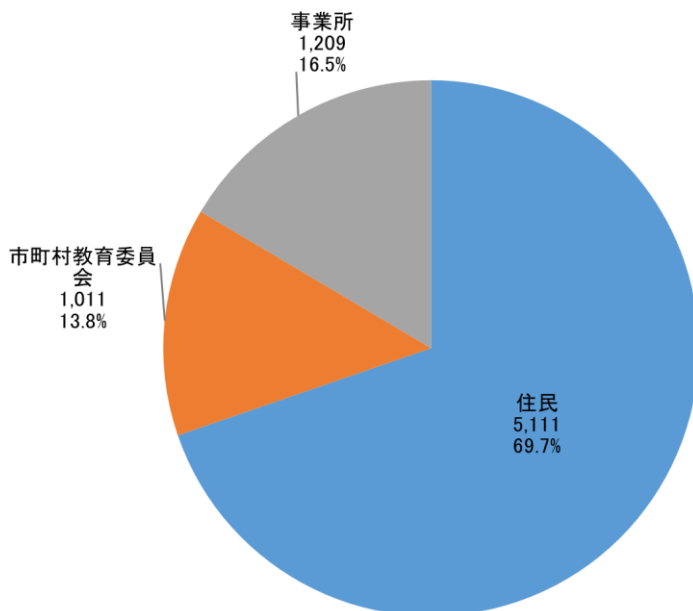
胃がんは、2番目に罹患数が多いがんであり、県内でも胃がんによる死亡者がいまだ多い状況にあることから、胃がんの早期発見に努めるため、バリウム造影による胃部エックス線デジタル撮影により実施した。

令和4年度胃がん検診実績者数は7,331人であり、前年度実績者数と比べ96人の増であった。

表1 胃がん検診実施状況(団体別)

団体区分	団体数	受診人数	異常なし	要精検	他臓器要精検	(胃所見) 精検不要	(付随所見) 精検不要	(精検不要) 受診勧奨	読影なし
住 民	10	5,111	2,173	280	44	1,788	30	796	0
市町村教育委員会	119	1,011	558	19	2	339	4	89	0
事 業 所	128	1,209	740	30	4	252	7	158	18
合計	257	7,331	3,471	329	50	2,379	41	1,043	18

図1 胃がん検診実施状況(団体別)



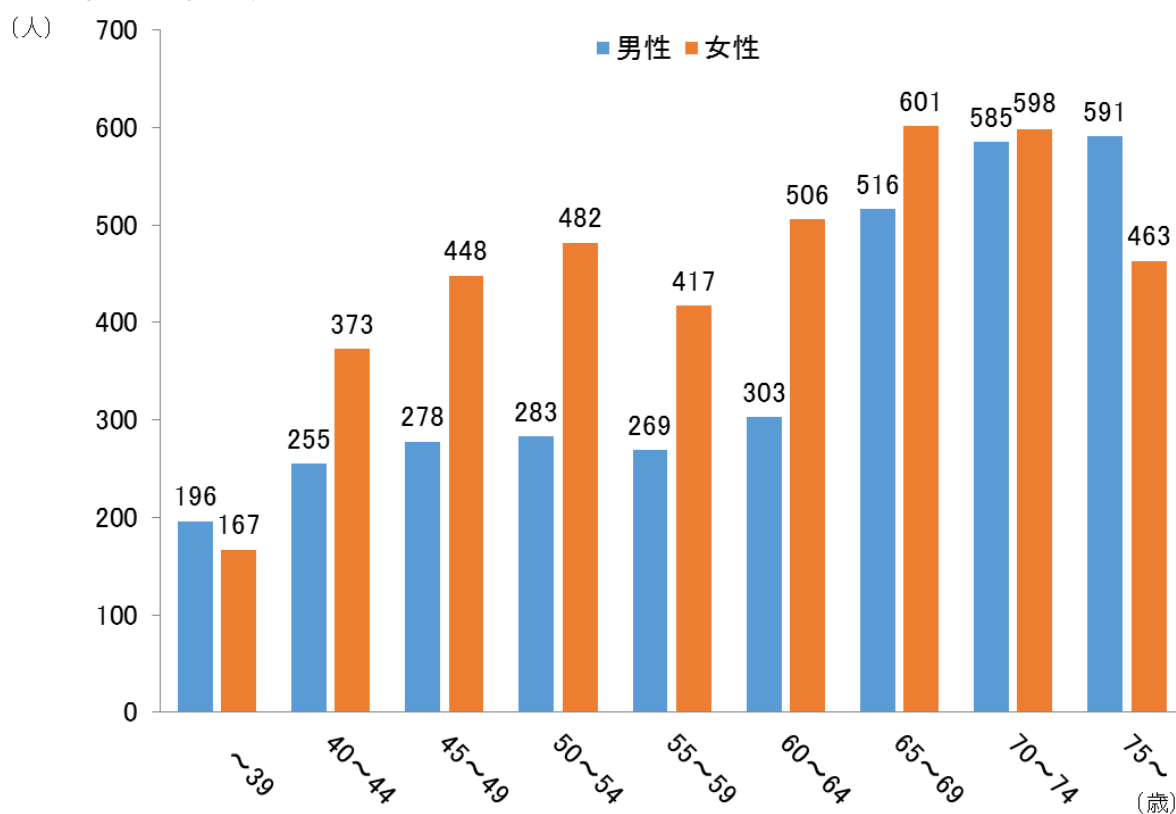
257 団体 7,331 人が受診、そのうち、379 人が要精検であった。

表2 胃がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	196	255	278	283	269	303	516	585	591	3,276
女性	167	373	448	482	417	506	601	598	463	4,055
合計	363	628	726	765	686	809	1,117	1,183	1,054	7,331

図2 胃がん検診実施状況（性別・年齢別）

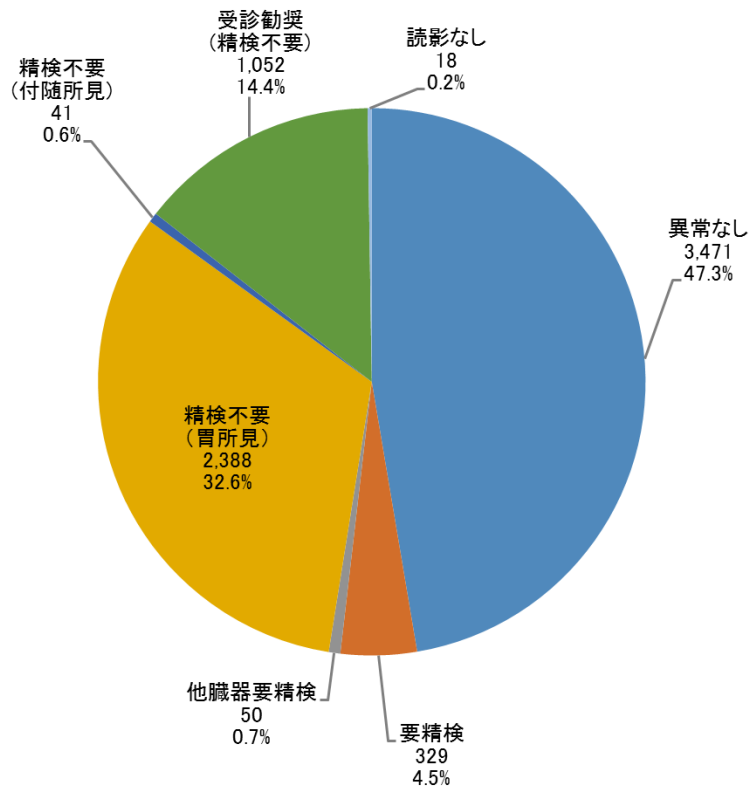


性別では、女性が男性より受診人数が多く、年齢別では男性が75歳以上、70～74歳、65～69歳の順に多く、女性が65～69歳、70～74歳、60～64歳の順に多かった。

表3 胃がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	異常なし	要精検	他臓器要精検	精検不要 (胃所見)	精検不要 (付随所見)	受診勧奨 (精検不要)	読影なし	要精検率	要精検率 他臓器	有所見率	1日あたり 受診人数
市町	166	5,111	2,173	280	44	1,788	30	796	0	5.5%	0.9%	50.6%	30.79
内訳													
栗東市	13	236	118	11	1	73	1	32	0	4.7%	0.4%	44.5%	18.15
日野町	14	337	153	19	5	93	2	65	0	5.6%	1.5%	46.9%	24.07
竜王町	7	243	97	10	2	103	0	31	0	4.1%	0.8%	55.1%	34.71
彦根市	14	604	252	44	10	195	4	99	0	7.3%	1.7%	48.7%	43.14
豊郷町	5	154	66	8	2	49	2	27	0	5.2%	1.3%	49.4%	30.80
甲良町	5	240	88	16	1	81	5	49	0	6.7%	0.4%	54.2%	48.00
多賀町	6	133	44	13	0	58	0	18	0	9.8%	0.0%	57.1%	22.17
東近江市	43	1,449	586	75	12	527	7	242	0	5.2%	0.8%	53.1%	33.70
高島市	21	783	336	47	2	281	5	112	0	6.0%	0.3%	50.2%	37.29
米原市	38	932	433	37	9	328	4	121	0	4.0%	1.0%	48.2%	24.53
市町教育委員会	288	1,011	558	19	2	339	4	89	0	1.9%	0.2%	42.3%	3.51
事業所	399	1,209	740	30	4	252	7	158	18	2.5%	0.3%	33.9%	3.03
総数	853	7,331	3,471	329	50	2,379	41	1,043	18	4.5%	0.7%	46.7%	8.59

図3 胃がん検診実施状況（結果別）

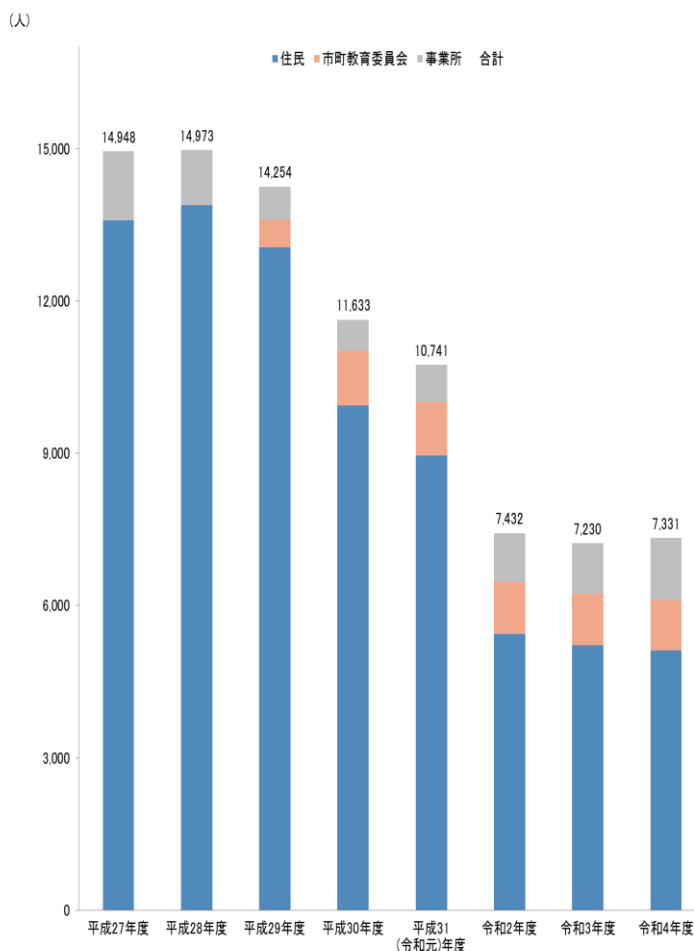


延べ 853 日にわたり、7,331 人に実施した。

表4 胃がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	13,591	12	13,880	14	13,058	14	9,945	13	8,951	13	5,440	12	5,219	10	5,111	10
市町教育委員会	—	—	—	—	542	48	1,079	103	1,052	107	1,032	103	1,019	119	1,011	119
事 業 所	1,357	133	1,093	104	654	55	609	57	738	79	960	104	992	120	1,209	128
合 計	14,948	145	14,973	118	14,254	117	11,633	173	10,741	199	7,432	219	7,230	249	7,331	257

図4 胃がん検診実施状況の経年比較(団体別)



平成24年度から平成29年度にかけて14,000人台を維持してきたが、住民健診の失注や市町の高齢者受診案内が控えられたこと等により平成30年度から大幅な減少となった。

以降は、国の方針で、胃がん検診を集団検診ではなく、診療所等で内視鏡などを利用した検診への推奨がなされたことや新型コロナウイルス感染症の蔓延による検診の中止・延期・受診控え等で、さらに減少した。

令和4年度は日本対がん協会のがん検診クーポンの配布などにより微増となった。

②大腸がん検診

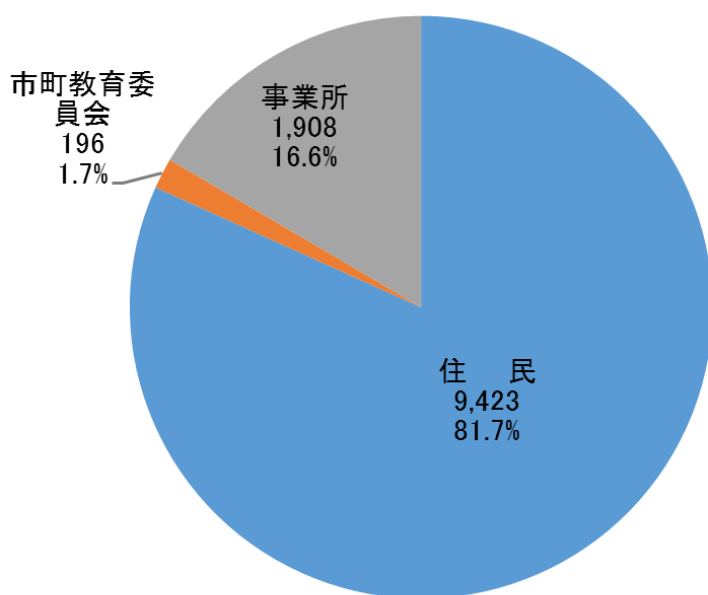
大腸がんによる死亡者は増加傾向にあり、最も罹患数の多いがんとなっている。早期発見に努めるため、便潜血検査（免疫学的便潜血検査2日法）を実施した。

令和4年度大腸がん検診実績者数は11,527人であり、前年度実績者数と比べ464人の増であった。

表1 大腸がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数	陰性	陽性	判定保留	検査不能	再検
住 民	9	9,423	8,957	466	0	0	0
市町教育委員会	27	196	187	9	0	0	0
事業所	139	1,908	1,834	74	0	0	0
合計	175	11,527	10,978	549	0	0	0

図1 大腸がん検診実施状況（団体別）



175 団体 11,527 人が受診。そのうち、549 人が陽性であった。

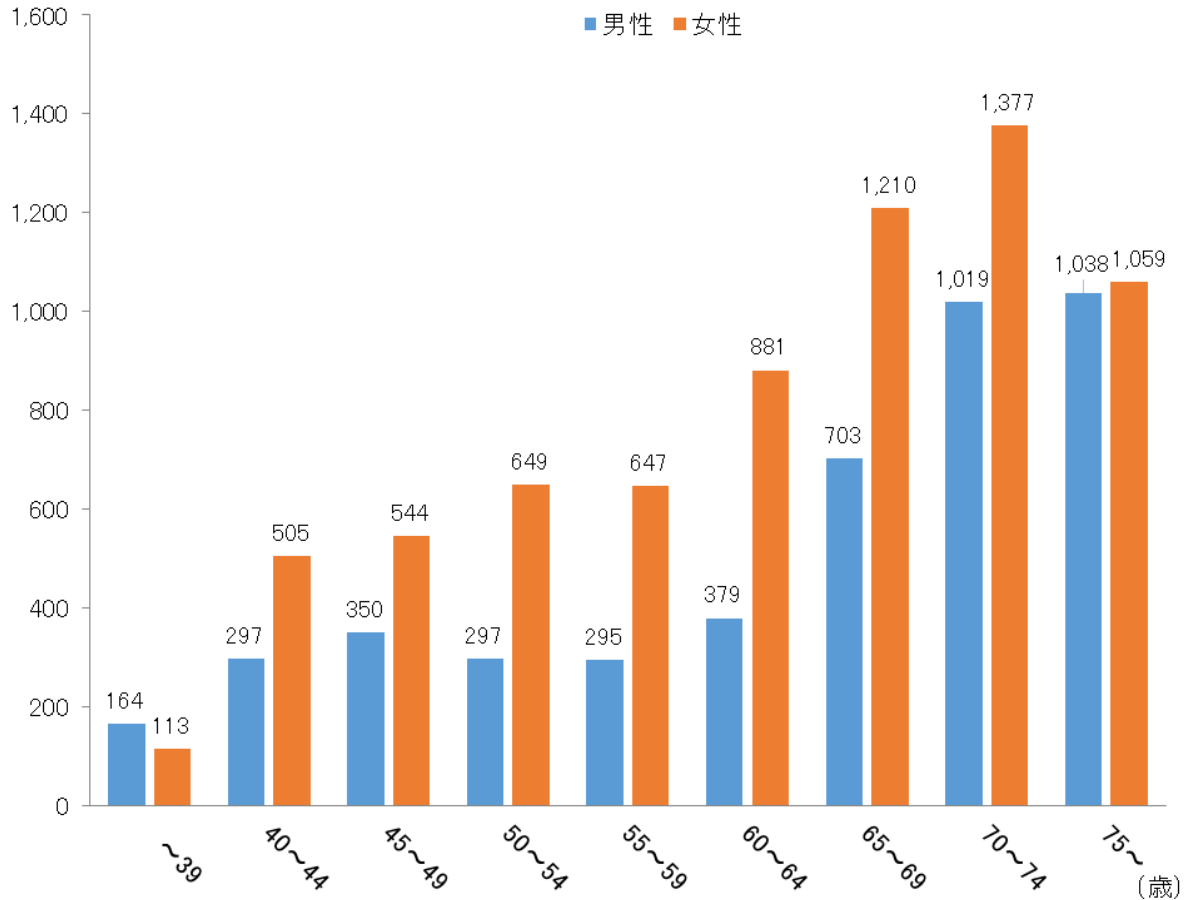
表2 大腸がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	164	297	350	297	295	379	703	1,019	1,038	4,542
女性	113	505	544	649	647	881	1,210	1,377	1,059	6,985
合計	277	802	894	946	942	1,260	1,913	2,396	2,097	11,527

図2 大腸がん検診実施状況（性別・年齢別）

(人)

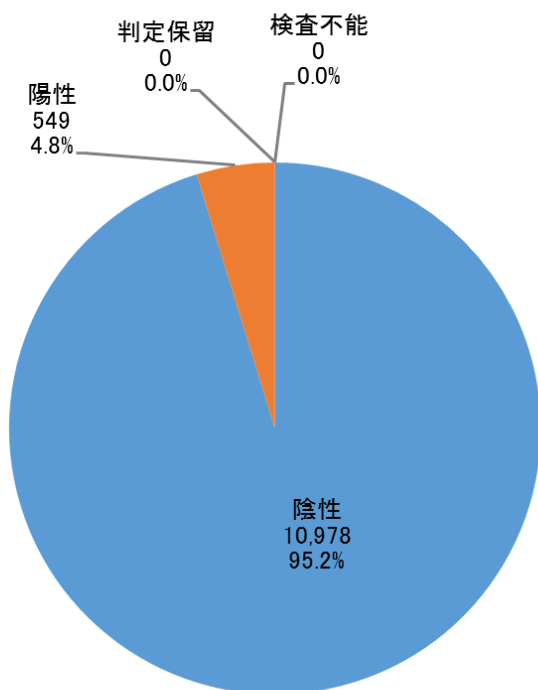


性別では、女性が男性より多く、年齢別では、男性で75歳以上、70～74歳、65～69歳、女性で70～74歳、65～69歳、75歳以上の順に多かった。

表3 大腸がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	陰性	陽性	判定保留	検査不能	再検	陽性率	1日あたり 受診人数
市町	186	9,423	8,957	466	0	0	0	4.9%	50.66
日野町	16	702	658	44	0	0	0	6.3%	43.88
竜王町	7	384	372	12	0	0	0	3.1%	54.86
彦根市	25	1,577	1,511	66	0	0	0	4.2%	63.08
豊郷町	6	278	260	18	0	0	0	6.5%	46.33
甲良町	7	414	391	23	0	0	0	5.6%	59.14
多賀町	6	265	253	12	0	0	0	4.5%	44.17
東近江市	43	2,704	2,567	137	0	0	0	5.1%	62.88
高島市	29	1,376	1,295	81	0	0	0	5.9%	47.45
米原市	38	1,723	1,650	73	0	0	0	4.2%	45.34
市町教育委員会	71	196	187	9	0	0	0	4.6%	2.76
事業所	366	1,908	1,834	74	0	0	0	3.9%	5.21
総数	623	11,527	10,978	549	0	0	0	4.8%	18.50

図3 大腸がん検診実施状況（結果別）

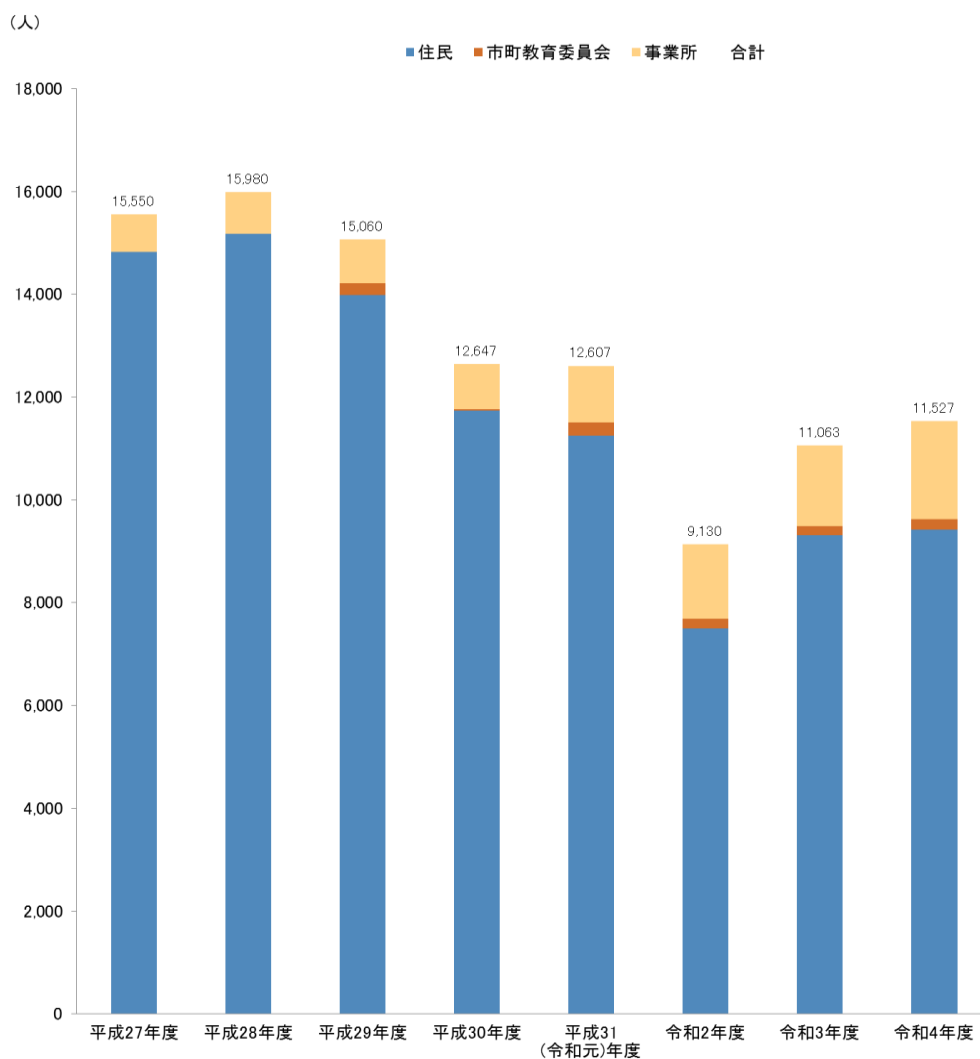


延べ 623 日にわたり、11,527 人に実施した。

表4 大腸がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	14,825	8	15,177	10	13,988	10	11,736	9	11,246	10	7,501	9	9,308	9	9,423	9
市町教育委員会	—	—	—	—	227	28	27	1	253	28	192	29	183	27	196	27
事 業 所	725	55	803	53	845	58	884	59	1,108	86	1,437	114	1,572	131	1,908	139
合 計	15,550	63	15,980	63	15,060	96	12,647	69	12,607	124	9,130	152	11,063	167	11,527	175

図4 大腸がん検診実施状況の経年比較（団体別）



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止・延期、受診控えがあった。

令和3年度は、前年の新型コロナウイルス感染症の蔓延による減少から持ち直したものの、コロナ前の水準までは回復していない。

令和4年度は、わずかに増加したものの、全体として依然コロナ前の水準までは持ち直して

いない。

③子宮頸がん検診

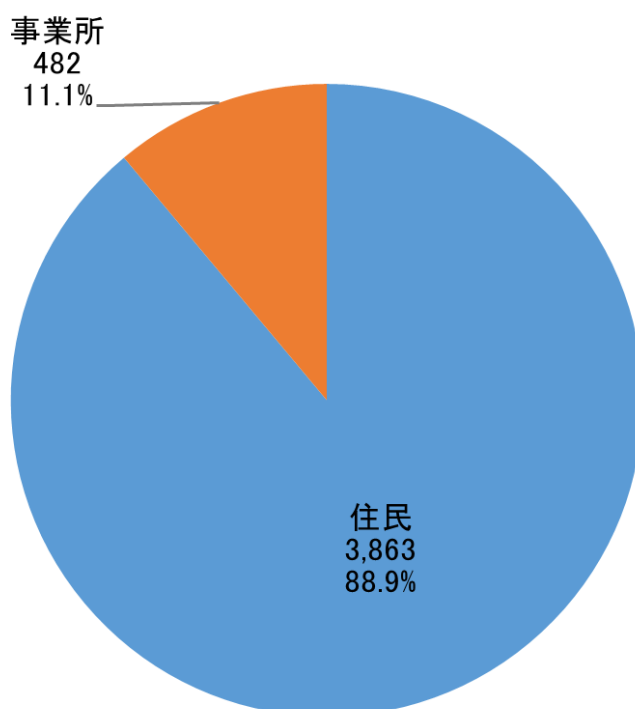
子宮頸がんは20代の女性が患うがんの中で最も多い疾患である。早期発見に努めるため、双合診および子宮頸部の細胞診の併用により実施した。

令和4年度子宮頸がん検診実績者数は4,345人であり、前年度実績者数と比べ364人の減であった。

表1 子宮頸がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要精検 (B)	要再検	異常を認めず	その他	要精検率 (B/A)
住 民	9	3,863	5	0	3,858	0	0.13%
事 業 所	38	482	1	0	481	0	0.21%
合 計	47	4,345	6	0	4,339	0	0.14%

図1 子宮頸がん検診実施状況（団体別）

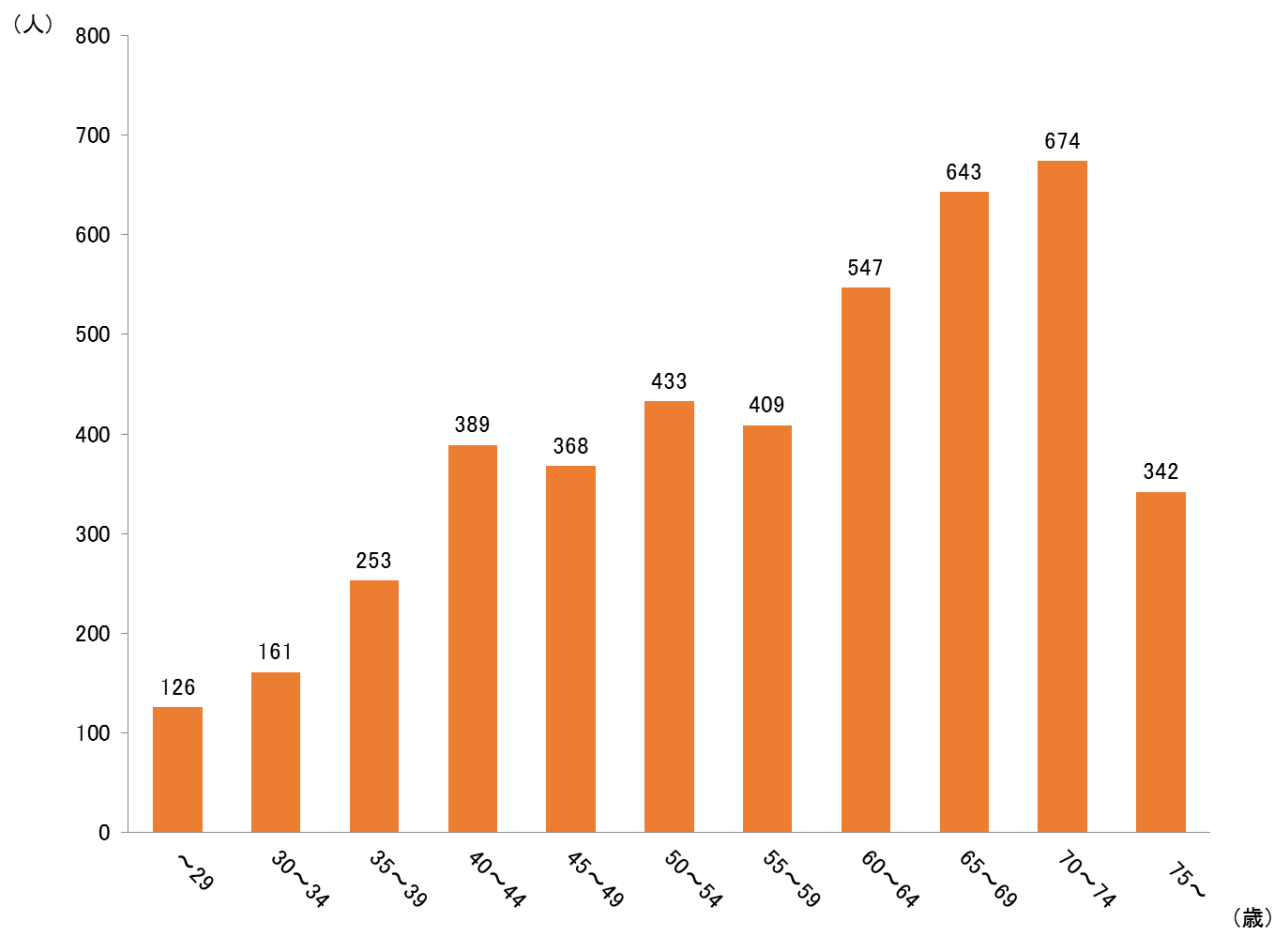


47団体4,345人が受診し、そのうち、6人が要精検者であった。

表2 子宮頸がん検診実施状況（年齢別）

												(人)
性別	～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
女性	126	161	253	389	368	433	409	547	643	674	342	4,345

図2 子宮頸がん検診実施状況（年齢別）

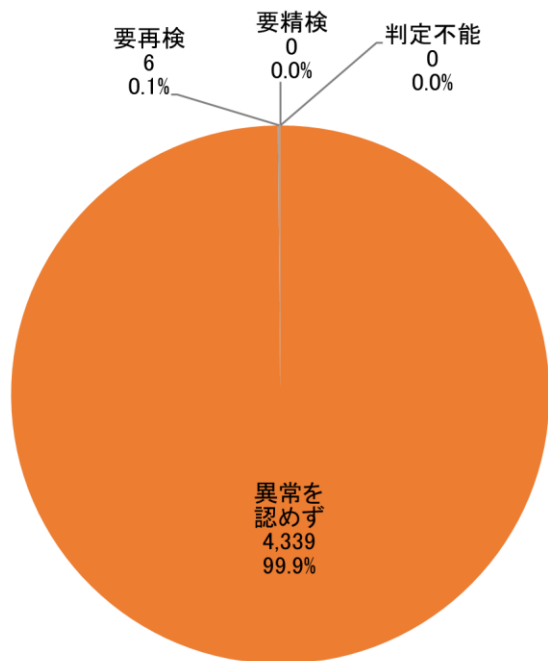


年齢別では、70～74歳、65～69歳、60～64歳の順に受診者が多かった。

表3 子宮頸がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	ペセスタ分類											判定不能	認異常を	要再検	要精検	要精検率	1日あたり 受診人数	
			NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adenoca	Other								
市町	132	3,863	3,859	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3,858	5	0	0.00%	29.27
日野町	12	259	259	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	258	1	0	0.00%	21.58	
滝王町	7	191	191	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	191	0	0	0.00%	27.29	
彦根市	13	560	560	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	560	0	0	0.00%	43.08	
豊郷町	4	122	122	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	122	0	0	0.00%	30.50	
甲良町	3	141	141	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	141	0	0	0.00%	47.00	
多賀町	5	100	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0.00%	20.00	
東近江市	40	1,212	1,209	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1,209	3	0	0.00%	30.30	
高島市	21	641	641	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	641	0	0	0.00%	30.52	
米原市	27	637	636	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	636	1	0	0.00%	23.59	
事業所	96	482	481	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	481	1	0	0.00%	5.02	
総数	228	4,345	4,340	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4,339	6	0	0.00%	19.06	

図3 子宮頸がん検診実施状況（団体別詳細）

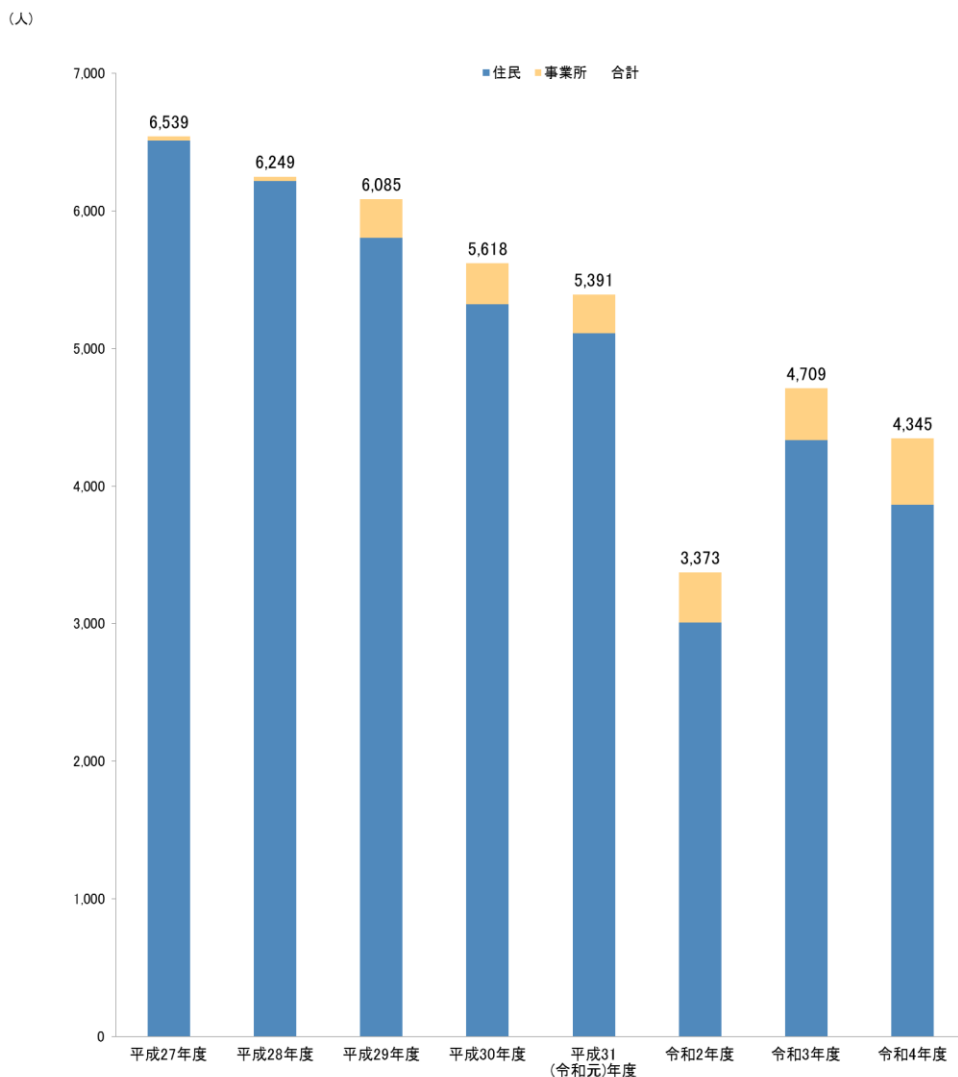


延べ228日にわたり、4,345人に実施した。

表4 子宮頸がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	6,508	9	6,216	9	5,802	9	5,323	9	5,110	10	3,007	9	4,333	9	3,863	9
事 業 所	31	4	33	4	283	10	295	13	281	16	366	16	376	38	482	38
合 計	6,539	13	6,249	13	6,085	19	5,618	22	5,391	26	3,373	25	4,709	47	4,345	47

図4 子宮頸がん検診の実施状況の経年比較(団体別)



市町の受診勧奨により平成27年度までは増加したがその後漸減傾向にある

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止・延期、受診控えがあった。

令和3年度は前年の新型コロナウイルス感染症の蔓延による減少から持ち直したものの、コロナ前の水準までは回復していない。

令和4年度は市町の検診で減少した。

④乳がん検診

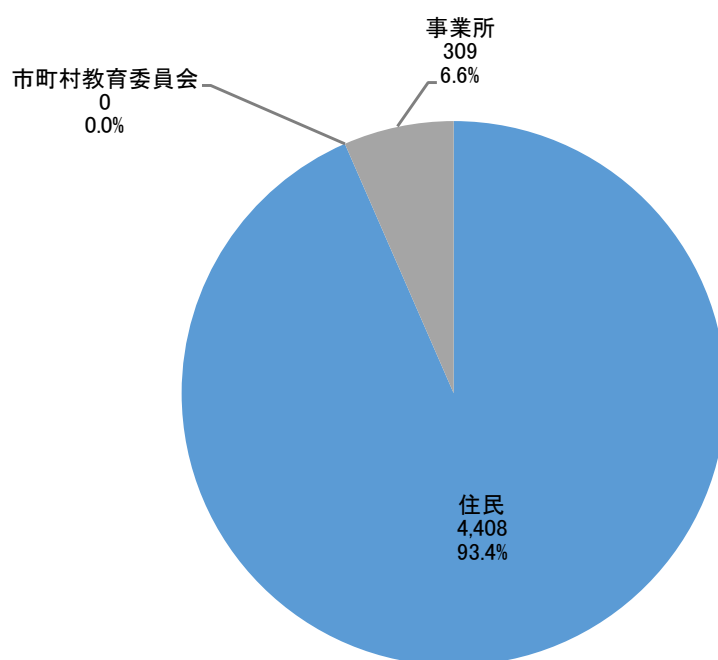
乳がんは、女性において最も罹患数が多いがんである。当財団では、マンモグラフィ撮影を実施した。

令和4年度乳がん検診実績者数は4,717人であり、前年度実績者数と比べ591人の減であった。

表1 乳がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要精検 (B)	精検不要		要精検率 (B/A)
				有所見	異常所見 なし	
住 民	9	4,408	285	0	4,123	6.47%
市町村教育委員会	0	0	0	0	0	0.00%
事 業 所	35	309	23	0	286	7.44%
合計	44	4,717	308	0	4,409	6.53%

図1 乳がん検診実施状況（団体別）

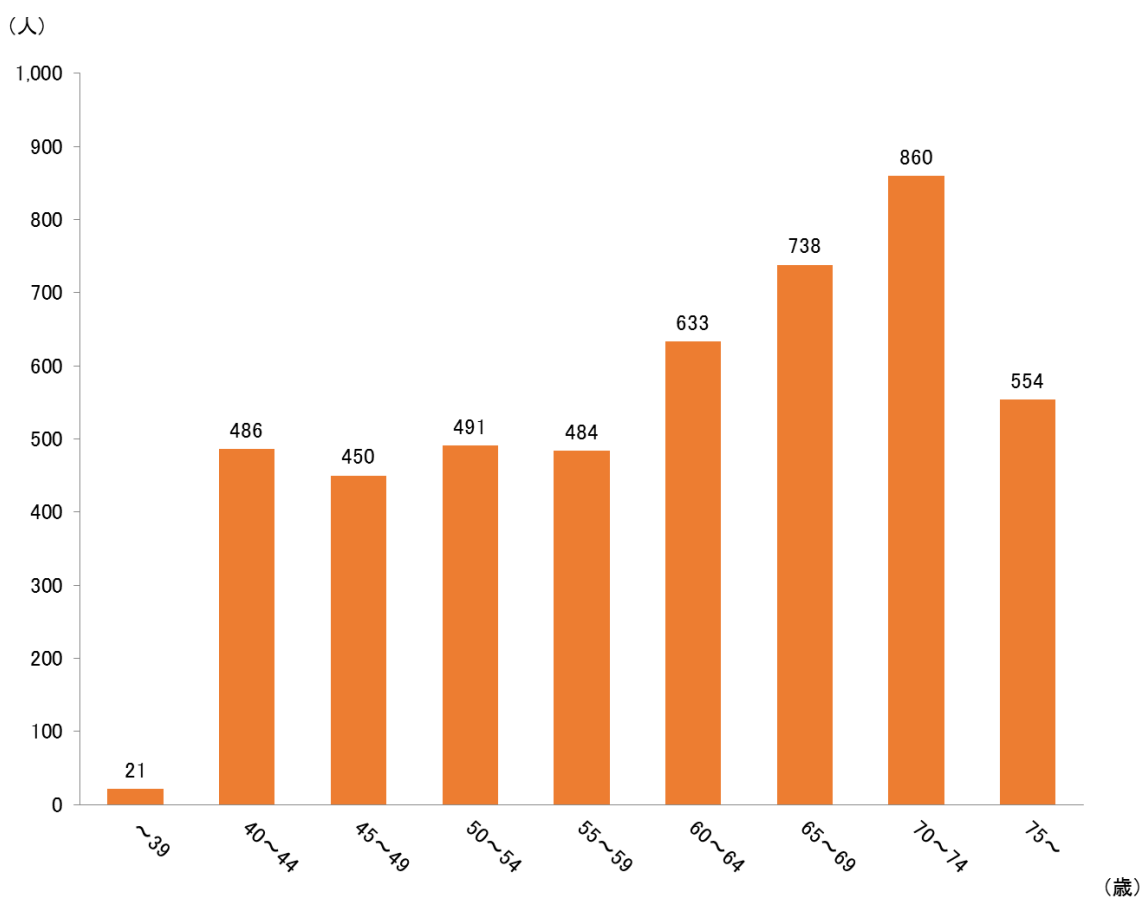


44団体4,717人が受診し、そのうち、308人が要精密検査であった。

表2 乳がん検診実施状況（年齢別）

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
女性	21	486	450	491	484	633	738	860	554	4,717

図2 乳がん検診実施状況（年齢別）

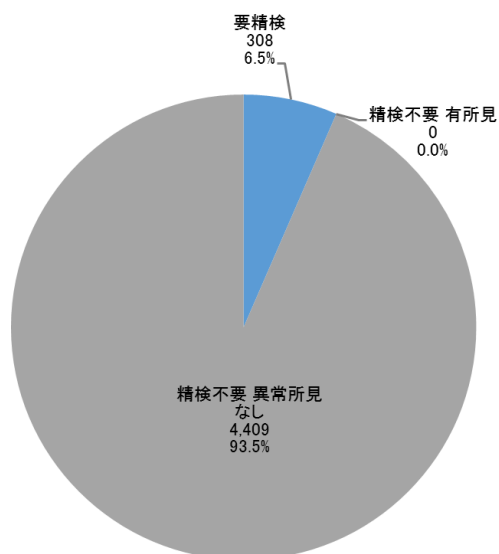


年齢別では70～74歳、65～69歳、60～64歳の順に多かった。

表3 乳がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数 (A)	要精検 (B)	精検不要		要精検率 (B/A)	1日あたり 受診人数
				有所見	異常所見なし		
市町	136	4,408	285	0	4,123	6.47%	32.41
日野町	12	293	23	0	270	7.85%	24.42
竜王町	7	209	20	0	189	9.57%	29.86
彦根市	16	747	72	0	675	9.64%	46.69
豊郷町	4	148	13	0	135	8.78%	37.00
甲良町	3	151	10	0	141	6.62%	50.33
多賀町	5	121	10	0	111	8.26%	24.20
東近江市	40	1,289	88	0	1,201	6.83%	32.23
高島市	21	697	23	0	674	3.30%	33.19
米原市	28	753	26	0	727	3.45%	26.89
市町村教育委員会	0	0	0	0	0	0.00%	0.00
事業所	82	309	23	0	286	7.44%	3.77
総数	218	4,717	308	0	4,409	6.53%	21.64

図3 乳がん検診実施状況（結果別）

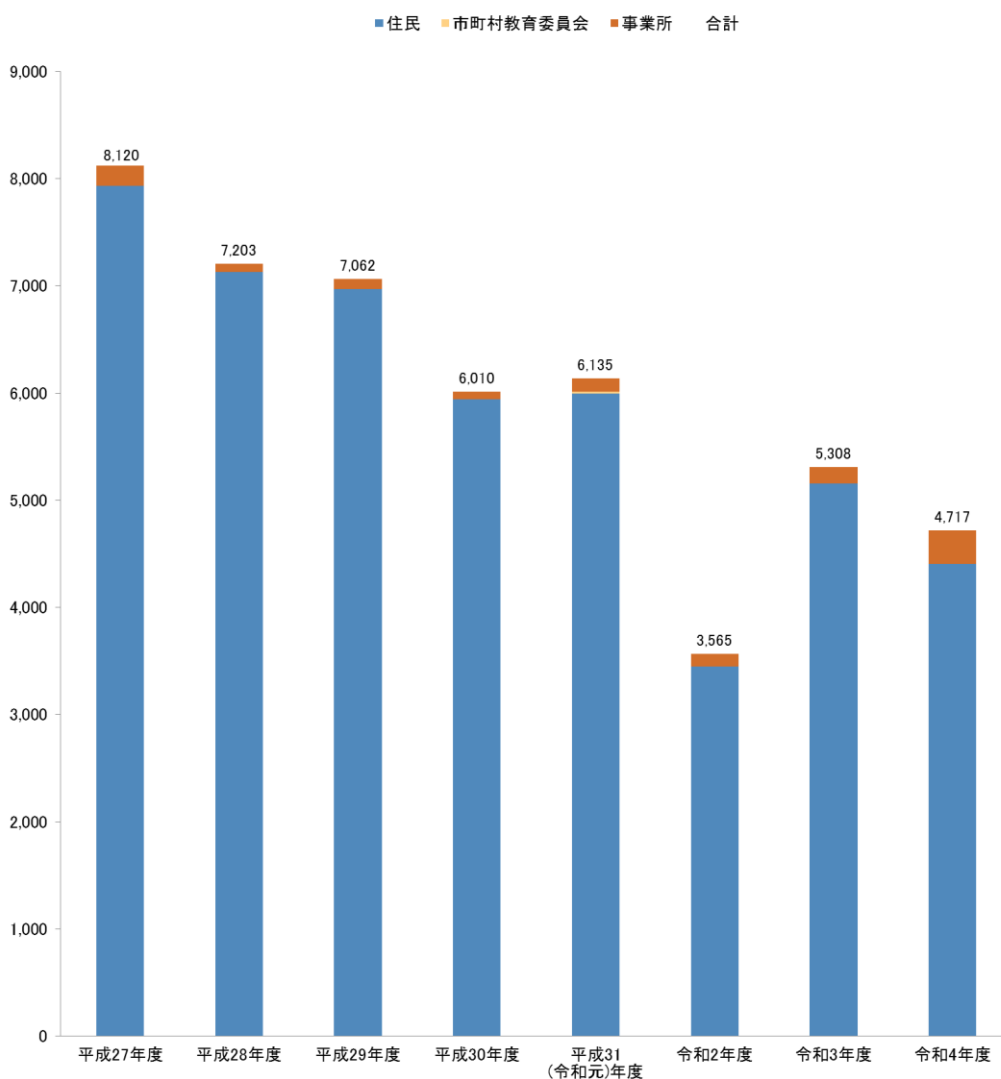


延べ218日にわたり、4,717人に実施した。

表4 乳がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31 (令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	7,933	10	7,127	10	6,966	10	5,939	9	5,994	10	3,450	9	5,157	9	4,408	9
市町村教育委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	19	1	0	0	0	0	0	0
事 業 所	187	6	76	4	96	7	71	12	122	12	115	26	151	26	309	35
合 計	8,120	16	7,203	14	7,062	17	6,010	21	6,135	23	3,565	35	5,308	35	4,717	44

図4 乳がん検診実施状況の経年比較（団体別）



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止・延期、受診控えがあった。

令和3年度は前年の新型コロナウイルス感染症の蔓延による減少から持ち直したものの、コロナ前の水準までは回復していない。

令和4年度は市町の検診で減少した。

⑤肺がん検診

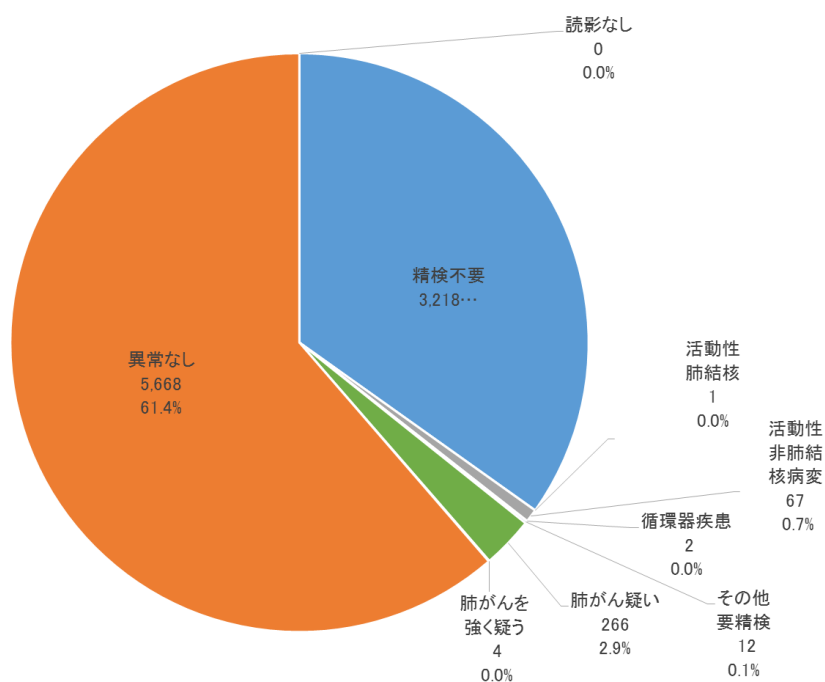
肺がんは、部位別がん死亡数で最も多い疾患である。早期発見のため、問診および胸部エックス線デジタル撮影、またハイリスクの受診者に対しては喀痰細胞診との併用により実施した。

令和4年度肺がん検診実績者数は9,238人であり、前年度実績者数と比べ314人の増であった。また、そのうち喀痰検査併用受診者が257人であった。

表1 肺がん検診実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診者数	精検不要	肺活動性結核	核非活動性肺結核	循環器疾患	要その他	肺がん疑い	強肺がんを疑う	異常なし	読影なし
住 民	10	9,139	3,187	1	67	2	11	262	4	5,605	0
事 業 所	1	99	31	0	0	0	1	4	0	63	0
合 計	11	9,238	3,218	1	67	2	12	266	4	5,668	0

表1 肺がん検診実施状況(結果別)

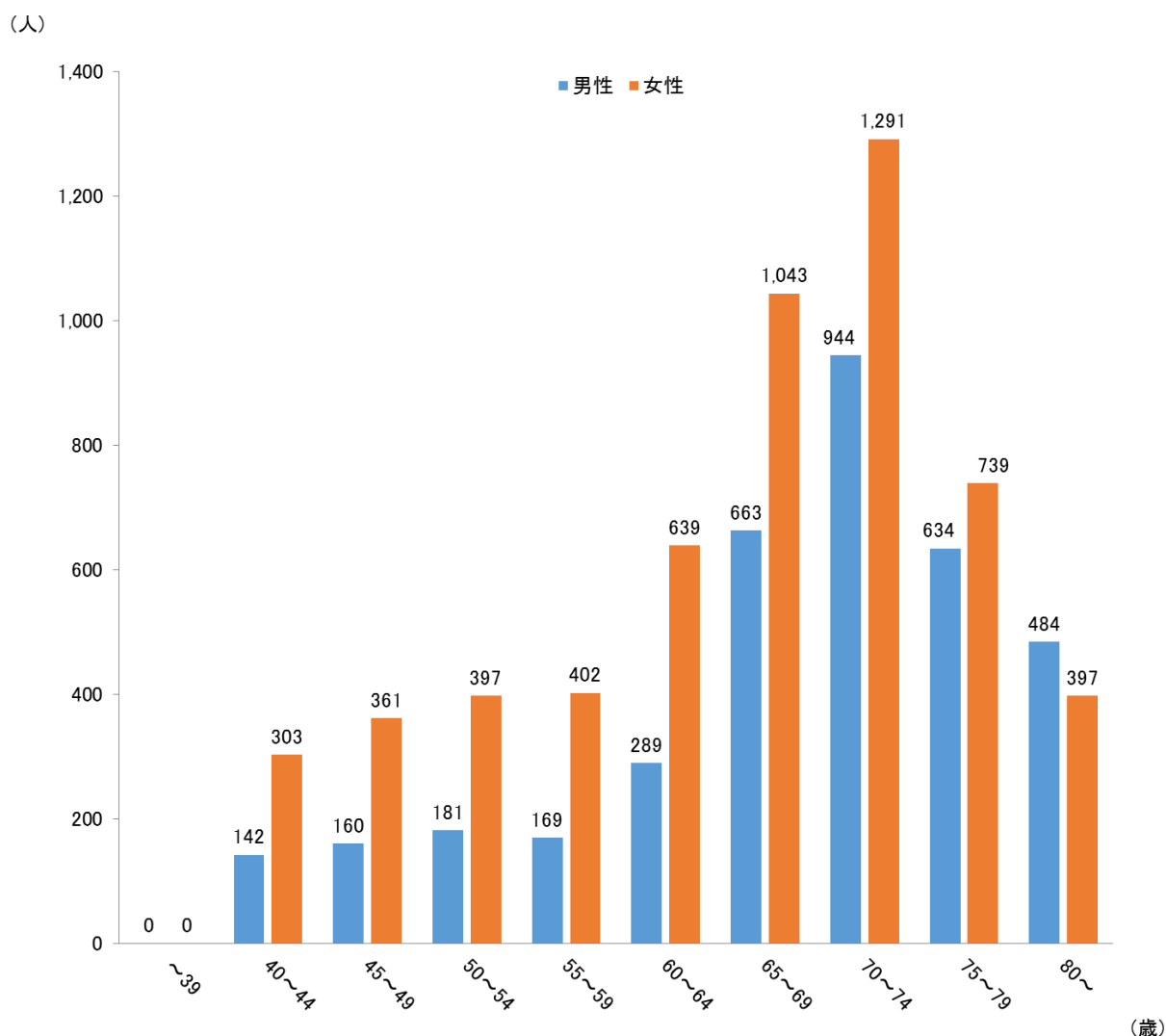


11 団体 9,238 人が受診し、そのうち、精検不要、異常なしを除くと、352 人に所見が見られた。

表2 肺がん検診実施状況（性別・年齢別）

性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	合計
男性	0	142	160	181	169	289	663	944	634	484	3,666
女性	0	303	361	397	402	639	1,043	1,291	739	397	5,572
合計	0	445	521	578	571	928	1,706	2,235	1,373	881	9,238

図2 肺がん検診実施状況（性別・年齢別）

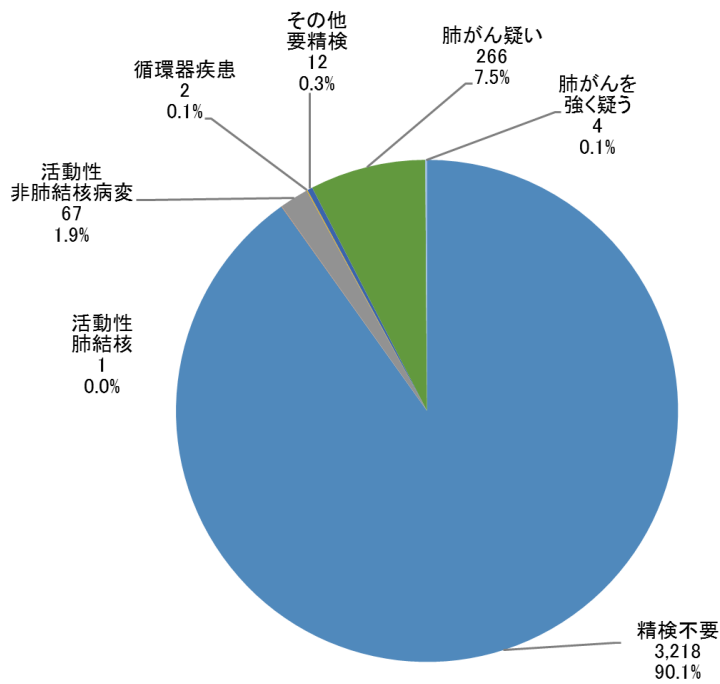


性別では、女性が男性より多く、年齢別では男性が70～74歳、65～69歳、75～79歳の順に多く、女性が70～74歳、65～69歳、75～79歳の順に多かった。

表3 肺がん検診実施状況（団体別詳細）

	日数	受診人数	精検不要	肺活動性結核	非肺活動性結核病変	循環器疾患	その他要精検	肺がん疑い	肺がんを強く疑う	異常なし	読影なし	1日あたり受診人数
市町	163	9,139	3,187	1	67	2	11	262	4	5,605	0	56.07
栗東市	13	355	115	0	4	0	1	13	0	222	0	27.31
日野町	9	329	117	0	4	0	0	11	0	197	0	36.56
竜王町	7	369	127	0	4	0	0	8	0	230	0	52.71
彦根市	41	2,154	724	0	10	1	1	55	2	1,361	0	52.54
豊郷町	10	765	294	0	7	1	3	22	0	438	0	76.50
甲良町	6	390	106	0	1	0	0	10	1	272	0	65.00
多賀町	6	217	95	0	4	0	0	8	0	110	0	36.17
東近江市	43	3,126	1,132	1	29	0	3	98	1	1,862	0	72.70
高島市	4	313	88	0	2	0	0	6	0	217	0	78.25
米原市	24	1,121	389	0	2	0	3	31	0	696	0	46.71
事業所	29	99	31	0	0	0	1	4	0	63	0	3.41
総数	192	9,238	3,218	1	67	2	12	266	4	5,668	0	48.11

図3 肺がん検診実施状況（結果別、異常なしを除く）

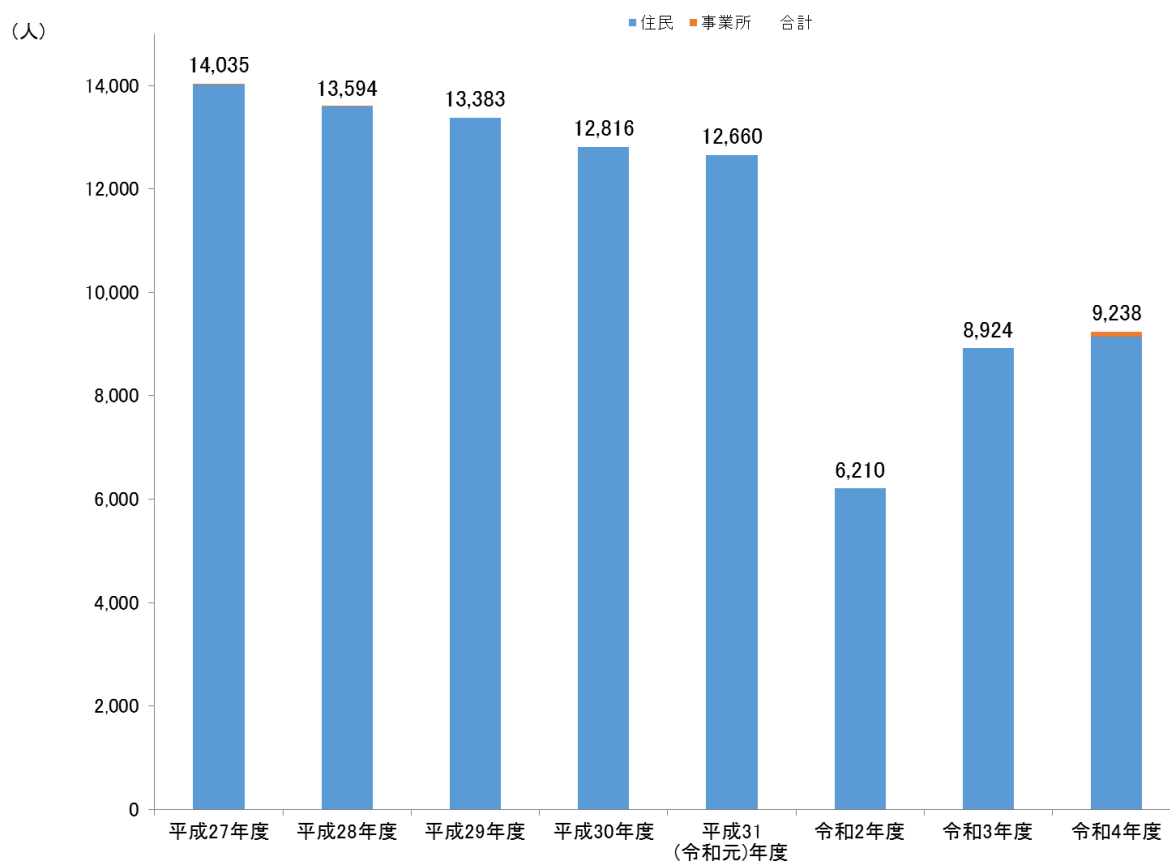


延べ192日にわたり、9,238人に実施した。

表4 肺がん検診実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	14,016	11	13,592	11	13,383	11	12,816	10	12,660	11	6,210	11	8,924	10	9,139	10
事 業 所	19	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99	1
合 計	14,035	14	13,594	12	13,383	11	12,816	10	12,660	11	6,210	11	8,924	10	9,238	11

図4 肺がん検診実施状況の経年比較（団体別）



一部市町において、医療機関での実施数が増えたことにより、平成28年以降、漸減している。

また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止、延期、受診控えがあった。

令和3年度は前年の新型コロナウイルス感染症の蔓延による減少から持ち直したものの、コロナ前の水準までは回復していない。

令和4年度は日本対がん協会の無料クーポンの配布等により微増した。

(4) 検査事業

①骨粗しょう症検査

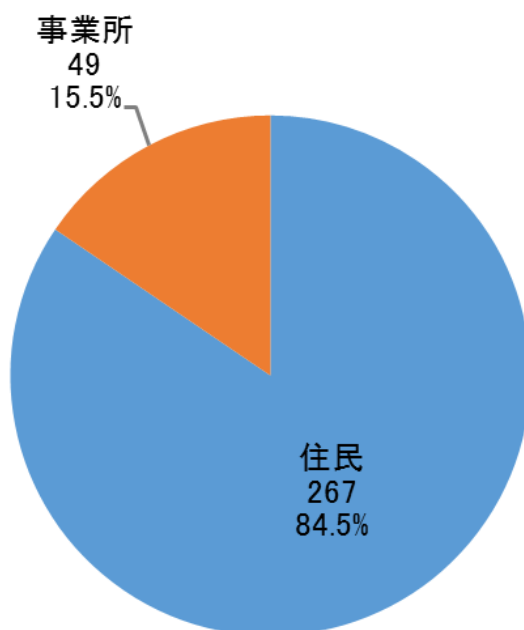
骨粗しょう症は骨折や寝たきりの原因となる疾患であり、予防や早期治療開始を目的として、前腕の橈骨における骨量測定検査（DXA法）を実施した。

令和4年度骨粗しょう症検査実績者数は316人であり、前年度実績者数と比べ84人の増であった。

表1 骨粗しょう症検査実施状況（団体別）

団体区分	団体数	受診人数 (A)	要受診 (B)	要指導	異常所見 なし	要受診率 (B/A)
住 民	4	267	77	55	135	28.84%
事 業 所	4	49	6	10	33	12.24%
合 計	8	316	83	65	168	26.27%

図1 骨粗しょう症検査実施状況（団体別）

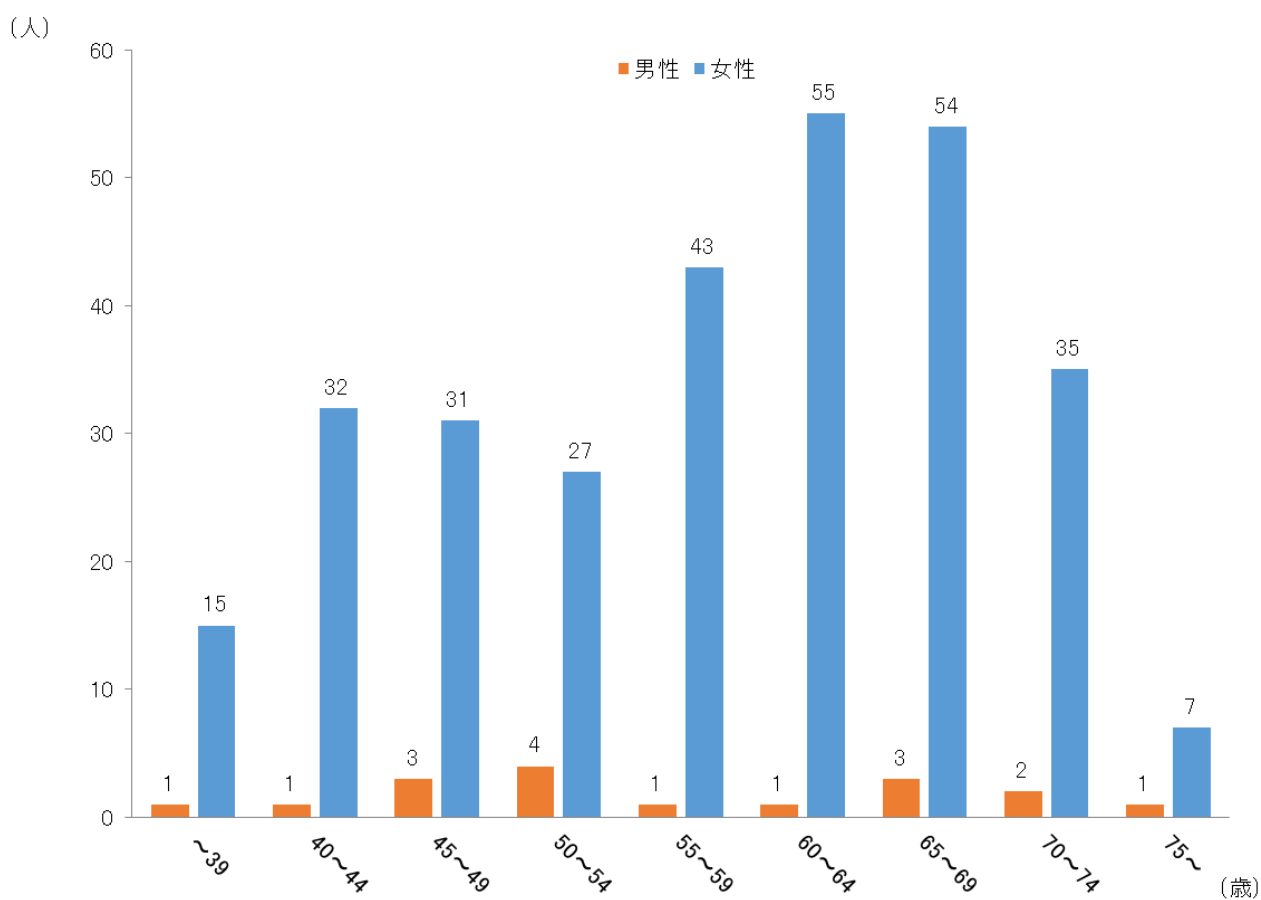


8団体316人が受診し、そのうち、83人が要受診であった。

表2 骨粗しょう症検診実施状況（性別・年齢別）

(人)										
性別	～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～	合計
男性	1	1	3	4	1	1	3	2	1	17
女性	15	32	31	27	43	55	54	35	7	299
合計	16	33	34	31	44	56	57	37	8	316

図2 骨粗しょう症検診実施状況（性別：年齢別）

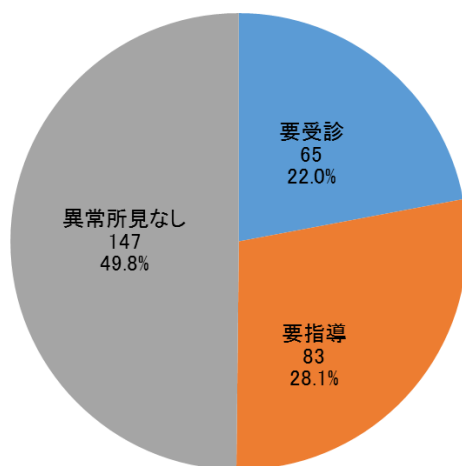


年齢別では、女性で60～64歳、65～69歳、55～59歳の順に多かった。
 男性は、50～54歳が最も多く、次いで45～49歳、65歳～69歳が多かった。

表3 骨粗しょう症検査実施状況（団体別詳細）

		日数	受診人数 (A)	要受診 (B)	要指導	異常所見なし	要受診率 (B/A)	1日あたり 受診人数
市町		7	267	55	77	135	20.60%	38.14
内訳	豊郷町	3	136	36	35	65	26.47%	45.33
	多賀町	1	64	10	28	26	15.63%	64.00
	高島市	1	41	6	11	24	14.63%	41.00
	米原市	2	26	3	3	20	11.54%	13.00
事業所		23	49	10	6	33	20.41%	2.13
総数		30	316	65	83	168	20.57%	10.53

図3 骨粗しょう症検診実施状況（結果別）

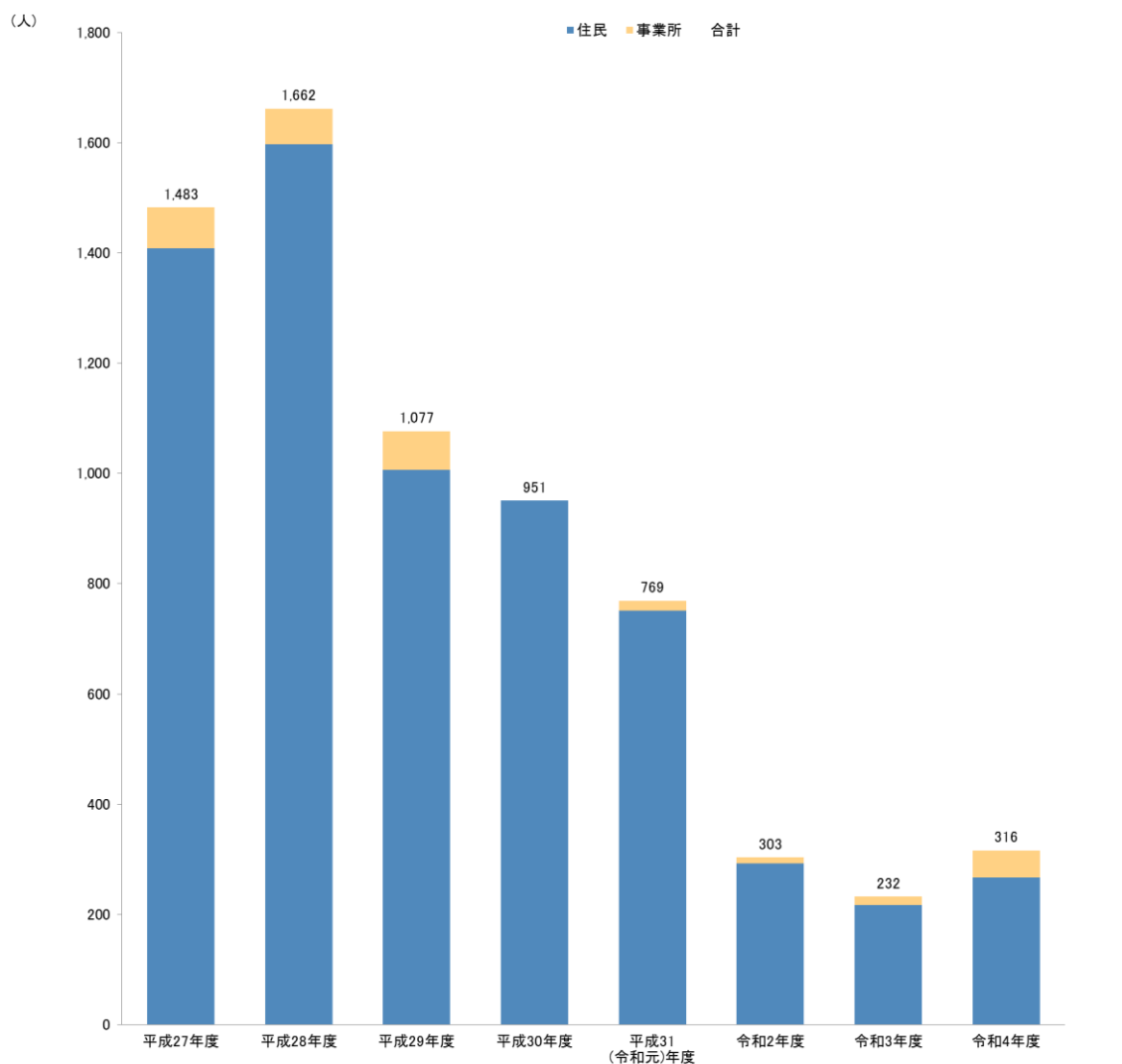


延べ30日にわたり316人に実施した。

表4 骨粗しょう症検査実施状況の経年比較（団体別）

団体区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31(令和元)年		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数	受診者数	団体数
住 民	1,408	8	1,597	8	1,007	7	951	7	751	6	292	4	217	4	267	4
事 業 所	75	1	65	1	70	1	0	0	18	2	11	1	15	2	49	4
合 計	1,483	9	1,662	9	1,077	8	951	7	769	8	303	5	232	6	316	8

図4 骨粗しょう症検査実施状況の経年比較(団体別)



平成29年度、平成31（令和元）年度は、それぞれ1市の検査が減ったことにより受診者数が減少している。

また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、検診の中止・延期、受診控えがあったため、前年に比べて約61%の受診者数減となった。

令和3年度は、前年に続き約23%の受診者数減となった。

令和4年度は微増したものの、コロナ前の水準までは回復しなかった。

(5) 健診結果分析評価事業

疾病予防や健康づくり等、滋賀県民一人ひとりの健康増進を図るため、財団において所有する特定健診・特定保健指導のデータを基に、適切な保健指導について分析、検討を行った。

(6) 健康づくり事業

滋賀県健康いきいき 21 の実質的な推進母体として活動される滋賀県健康推進員団体連絡協議会に対し、継続的な健康づくり事業の推進のための支援を行った。

また、事業所の従業員を対象に、健康づくり出前講座等を実施した。

① 滋賀県健康推進員団体連絡協議会の活動に対する支援

I. 滋賀県健康づくり財団施設における研修会

滋賀県健康推進員団体連絡協議会リーダー研修会

日時 令和4年12月8日(木) 10:00 ~ 12:15

場所 滋賀県健康づくり財団 大会議室・多目的室

内容 「体力測定」

講師 滋賀県健康づくり財団 健康運動指導士 多比良卓志

「生活習慣病の予防に関する講話」

講師 滋賀県健康づくり財団 専務理事 医師 水田和彦

スタッフ 保健師、管理栄養士、事務職

参加者数 22名

II. 滋賀県健康推進員団体連絡協議会への助成金の交付

滋賀県健康推進員団体連絡協議会との連携を密にしながら、地域への健康づくりの取り組みの拡大を支援するために健康づくり助成金の交付を行った。

・ 交付額 200,000円

・ 主な助成金交付対象事業

県民の健康づくりに関する事業

県民の健康づくりの指導者等を育成する事業

② 市町・事業所への出前講座等

社会福祉法人滋賀同仁会での健康講座

社会福祉法人滋賀同仁会の職員に向けて健康講座を行った。

日時 令和4年10月11日(火) 9:30 ~ 10:40

場所 社会福祉法人滋賀同仁会

内容 「食中毒の予防について」(講話50分)

講師 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 管理栄養士 松田桃子

参加者数 13名

③ 財団ホームページへの健康づくり情報の掲載(STAY HOME and Do Something)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、自宅で過ごす時間が増えたことから、健康づくりに役立つ情報として、運動不足解消や気分転換につながるエクササイズや栄養バランスを

考えた簡単な料理レシピを「STAY HOME and Do Something」と題してホームページに引き続き掲載した。

- ・おうちでエクササイズ
体幹・脚力・腹筋等を鍛える運動(12種類)
- ・おうちでクッキング
ごはん・おかず・お菓子等のレシピ(12種類)

④施設内健診受診者への情報提供

施設内健診受診者に対し、健康に関する情報提供として、「がん」、「がん検診」をテーマにしたリーフレットを作成し、配布した(1,544名)。

⑤健康しが企画室の主催する事業への参画

県庁健康寿命推進課健康しが企画室が主催されるイベントならびに会議に参画した。

- ・第12回「健康しが」共創会議への参画

日時 令和4年12月22日(木) 14:00～16:30
場所 滋賀県庁7階 大会議室
内容 テーマ「女性の健康」

健康づくり財団から「20代女性への子宮頸がん検診の受診啓発」をテーマにアイディアプレゼンを実施

スタッフ 管理栄養士

参加者数 出席者46名(集合参加36名・オンライン参加10名)

- ・第2回ワーキングチーム

日時 令和5年1月18日(水) 13:15～15:00
場所 滋賀県庁北新館3階 多目的室2
内容 「がん検診の受診率アップ」をテーマに活動方法を検討

イオンモール草津での啓発イベントに参画することとなった。

スタッフ 管理栄養士

参加者数 出席者5名

- ・第13回「健康しが」共創会議への参画

日時 令和5年3月13日(月) 13:30～16:30
場所 滋賀県庁7階 大会議室(オンラインで参加)
内容 開催テーマ「若年世代の健康」

健康づくり財団から「子宮頸がん検診啓発イベント」の実施状況を報告した。

スタッフ 保健師

参加者数 出席者60名(集合参加52名・オンライン参加8名)

⑥その他

しがの健康づくりサポーターおよび健康おおつ21応援団として、財団施設内にステッカーや卓上旗の設置を行った。

- ・しがの健康づくりサポーターステッカー：「禁煙・食生活・運動」
- ・健康おおつ21応援団：「健康寿命を伸ばそう！みんなで取り組む生き生きと笑顔で暮らせる健康な街づくり」

3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業

(1) 臓器移植コーディネーター設置事業

(2) アイバンク事業

(3) 腎臓バンク事業

3. 眼球、腎臓提供者の募集・登録、眼球幹旋などを通じ、眼や腎臓病の保健衛生の知識普及を始めとする臓器移植を推進する事業

(1) 臓器移植コーディネーター設置事業

滋賀県における臓器移植を推進するため、臓器移植コーディネーターを設置し、広く県民に腎臓等臓器移植に関する正しい知識の普及啓発活動を行った。また、医療施設には、臓器提供に対する理解と協力を得て、臓器移植の円滑な実施を図るための体制づくり等について働きかけた。さらに、臓器移植提供者発生時は、円滑な臓器移植を推進するため家族等に対するインフォームドコンセントおよび関係機関等との連絡調整を実施した。

① 普及啓発

臓器移植キャンペーン事業とアイバンク、腎臓バンク事業の共通事業として、臓器移植普及推進月間(10月)を中心に啓発を行った。

I. 地域住民などへの啓発活動

i. 啓発資材等の配布

県内における保健所、市町、運転免許センター等の公共施設窓口にて意思表示カード付リーフレット等の設置や、啓発に協力していただけるよう県内 259 施設へ啓発資材等を配布した。

ii. 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

・グリーンリボンドライバー普及啓発ステッカーの貼付依頼

一般社団法人滋賀県タクシー協会 約 1,200 枚

・FM ラジオ CM 放送による啓発

放送日毎に作成した CM を放送し、臓器提供の意思表示および臓器提供について呼びかけを実施した。

FM おおつ (株式会社 FM おおつ)

日時 令和 4 年 10 月 1 日(土) 午前 1 回、午後 1 回
令和 4 年 10 月 15 日(土) 午前 1 回、午後 1 回
令和 4 年 10 月 16 日(日) 午後 3 回

エフエムひこね (エフエムひこねコミュニティ放送株式会社)

日時 令和 4 年 10 月 2 日(日) ~ 16 日(日)
※ 1 日につき 1 ~ 3 回の放送

ロケッツ 785 (株式会社 えふえむ草津)

日時 令和 4 年 10 月 6 日(木) ~ 15 日(土)
※ 1 日につき 午後 1 回放送

FM ひがしおうみ (びわ湖キャプテン株式会社)

日時 令和 4 年 10 月 10 日(月) ~ 14 日(金)
※ 1 日につき 2 回の放送

・FM ラジオ番組による啓発

FM おおつ

日時 令和 4 年 12 月 24 日(土) ~ 30 日(金)
※ 1 日につき 夕方 ~ 夜の 30 分間の放送

内容	番組名 「FROM FM おおつサポーター」
	内容 県臓器移植コーディネーターが番組に出演し、臓器提供の意思表示、臓器提供の流れ、臓器提供について説明した。
	出演 滋賀県健康づくり財団 滋賀県臓器移植コーディネーター 多比良卓志

・グリーンライトアップ

日時	令和4年10月16日(日) 日没 ~ 21:00
場所	彦根城天守
内容	彦根城天守をグリーンにライトアップし、より多くの県民に臓器移植について認知していただくとともに、家族や大切な人と「移植」や「いのち」について話し合っていたく機会とすることを目的として、「全国 GREENLIGHT-UP Project」に参加した。

・街頭啓発

日時	令和4年11月6日(日) 10:00 ~ 17:00
場所	ブランチ大津京 (さんかく広場)
内容	県民に臓器移植や臓器提供について認知していただくとともに、臓器提供に関する意思表示についてアンケートを224名の方に実施した。

iii. 臓器移植希望者（レシピエント）への登録説明2名

II. 臓器提供に協力いただく施設の医療従事者との連携および体制整備の取組

- i. 県内の脳死下臓器提供可能施設に設置された院内コーディネーターとの連携を図ることを目的として、院内コーディネーター連絡会（年2回）を開催した。

【第1回】

日時	令和4年8月26日木 14:00 ~ 16:00
場所	公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)
内容	①「第819例目脳死下臓器提供症例報告」 ②「当院における臓器移植検証会」 ③「県内の脳死下臓器提供について」

参加者数 オンラインで12箇所より接続

【第2回】

日時	令和5年3月10日(水) 14:00 ~ 16:00
場所	公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室(オンライン開催)
内容	① 「第848例目脳死下臓器提供症例報告」 ② 「コロナ禍における脳死下臓器提供症例報告」 ③ 「手術室における脳死下臓器提供の受け入れ」 ④ 「移植医療推進の行政の取組と臓器移植法ガイドライン改正の概要」 ⑤ 「臓器提供について考える～臓器提供患者の家族の言葉から～」

参加者数 オンラインで15箇所より接続

- ii. 臓器移植に関する正しい知識の普及啓発および脳死下臓器提供医療機関の体制整備推進

を目的として、院内勉強会・院内シミュレーションを実施した。(日本臓器移植ネットワーク都道府県支援事業含む)

- ・滋賀医科大学医学部附属病院 院内研修会
日時 令和4年8月12日(金) 18:00 ~ 20:00
内容 「脳死臓器提供下におけるドナー適応評価と管理」
参加者数 (滋賀医科大学医学部附属病院関係者、学生)
- ・滋賀医科大学医学部附属病院 法定脳死判定シミュレーション
日時 令和4年10月24日(月) 18:00 ~ 20:00
内容 「法的脳死判定のポイントとピットフォール」
参加者 滋賀医科大学医学部附属病院関係者、学生
- ・奈良県立総合医療センター 脳死下臓器提供シミュレーション
日時 令和4年11月14日(金) 14:00 ~ 16:00
内容 「脳死下臓器提供の流れ」
参加者 奈良県立総合医療センター関係者
- ・奈良県立総合医療センター 院内研修会
日時 令和5年3月15日(金) 15:30 ~ 17:00
内容 「脳死下臓器提供について」
参加者 奈良県立総合医療センター関係者

②臓器提供発生時業務

臓器提供発生時には日本臓器移植ネットワーク西日本支部と連携し、臓器提供の円滑な実施に向け、以下の業務を行った。

- I. 臓器提供者の適応を確認するとともに、臓器提供について申し出があった家族に対し説明を行い、意思確認を行った。
- II. 情報発生施設に対して、円滑な実施に向けて説明や調整を行った。臓器摘出に係る検査や搬送の手配および関係機関等への連絡調整を実施した。

○令和4年度臓器提供実績

- ・第848例目脳死下臓器提供(提供臓器：腎臓)
- ・心停止下臓器提供(隣県支援)

③症例対応後業務

- I. 遺族に対し、感謝状の贈呈、移植患者の経過報告等を遺族希望に応じて実施した。
- II. 情報提供施設の関係部署へ定期的に移植後の経過・ご家族の様子を報告した。

(2) アイバンク事業

善意の眼球提供により、視力障害者の視力の回復に資するため、眼球提供者の募集・提供登録者の拡大を図るとともに、提供眼球の斡旋を行った。また、県民の献眼に関する正しい知識の普及啓発を行い協力を広げることを目的に、関係機関、関係団体等の支援と協力を得て事業を展開した。

①眼球提供者の募集および登録

眼球の提供登録を推進するため、眼球提供申込書等を県内関係行政機関、各市町、関係諸団体

に配置するとともに協力を依頼し、広く善意による眼球提供者登録を行った。

令和4年度登録者 6名
実登録者数 6,212名

表1 アイバンク登録者実績表

	平成30年度	平成31 (令和元)年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録者数	51	64	9	15	6
実登録者数	6,358	6,346	6,292	6,247	6,212

②眼球の摘出・斡旋

I. 角膜移植待機者の把握

県下の移植医療機関4病院における移植待機者数0名

II. 眼球の摘出・斡旋

令和4年度斡旋眼球実績

献眼1名、摘出眼球2眼、斡旋眼球0眼

斡旋眼球実績累計（昭和59年度～令和4年度分）

献眼 169名

摘出眼球 324眼

斡旋眼球 273眼

斡旋先 151眼（県内）、122眼（県外）

③啓発事業の実施

眼に関する正しい保健衛生思想の普及と眼球の提供登録の呼びかけなど、臓器移植推進月間（10月）を中心に啓発活動の推進に努めた。

I. 啓発資料の配布

配布資料 啓発用パンフレット（腎・アイバンクだより、眼球提供登録申込用紙）等

配布先 県内各関係行政機関、各関係医療機関、ライオンズクラブ、看護学校、大学等

II. 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

III. 献眼登録者へ機関紙「腎・アイバンクだより」および機関誌「愛の光」の配布

IV. 第37回京都・滋賀・奈良地区アイバンクシンポジウムの開催

県民に対して献眼への理解と協力を広げることを目的に、アイバンク愛の光基金管理会とライオンズクラブ国際協会335-C地区とともに当番県として開催した。

日時 令和5年3月4日（土）14:00～16:00

場所 ピアザ淡海（滋賀県立県民交流センター）

内容 講演「加齢黄斑変性について」滋賀医科大学眼科学講座助教 澤田智子 氏
コンサート「愛の光のコンサート」

永興富士見こども園・藤尾こども園 園児

いのうえ眼科音楽友の会 井上美奈香 氏

参加者数 262名

④財政基盤の強化等

支援団体であるライオンズクラブとの連携を基に、新規会員の確保と会費収入の増収に努めた。

賛助会費収入（法人・個人会員）	350,000円（20件）
寄付金	76,496円（43件）
助成金 アイバンク愛の光基金	
アイバンク活動及び各地域の募金実績等に応じた助成	750,000円
アイバンクシンポジウム開催	300,000円
日本アイバンク協会	110,000円
合計	1,786,496円

(3) 腎臓バンク事業

腎不全患者の機能回復に資するため、腎臓移植の推進に向け、死後の腎臓提供者の登録の拡大を図るとともに、県民の腎臓病に関する正しい知識の普及啓発を行い、献腎への理解、協力を求めた。また、腎臓移植希望患者等に対する経費助成を行った。これらの事業については、日本臓器移植ネットワークとの連携や関係機関、関係団体等の支援および協力を得て推進・展開した。

①死体腎提供者の募集および登録

死体腎の提供登録を推進するため、腎臓提供申込書等を県内関係行政機関、各市町、関係諸団体に配置するとともに協力を依頼し、広く善意による腎臓提供者登録を行った。

令和4年度登録者	5名
実登録者数	3,099名
移植希望者	82名（令和4年12月31日現在）

表1 腎臓バンク登録者実績表

	平成30年度	平成31 (令和元)年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録者数	28	26	9	11	5
実登録者数	3,134	3,127	3,121	3,107	3,099
移植希望者数	56	64	64	67	82

②腎臓移植に係る組織適合性検査への助成

I. 腎臓移植希望待機者の組織適合検査に対する助成

令和4年度助成実績数 2件

II. 滋賀県内における死体腎摘出チームおよび死体腎提供施設に対する助成（摘出腎が使用不可能な場合のみ助成）

令和4年度助成実績数 0件

③啓発事業の実施

腎臓病に関する保健衛生思想の普及と腎臓提供登録の呼びかけなど、臓器移植推進月間（10月）を中心に啓発活動の推進に努めた。

I. 啓発資料の配布

配布資料 啓発用パンフレット（腎臓提供登録申込用紙、腎・アイバンクだより）等

配布先 県内各関係行政機関、各関係医療機関、ライオンズクラブ、看護学校、大学等

II. 臓器移植普及推進キャンペーンの実施

III. 献腎登録者への機関紙「腎・アイバンクだより」のチラシの配布

④財政基盤の強化等

賛助会費制度の理解と新規会員の確保と会費収入の増収に努めた。

賛助会費収入（法人・個人会員） 264,000 円（19 件）

寄付金 96,100 円（24 件）

合 計 360,100 円（43 件）

4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を
充実補完する事業

- (1) 療養所入所者一時帰省招待およびハンセン病啓発事業
- (2) 母子保健関連推進事業
- (3) 医師会健診データ電子化事業

4. 県・市町・関係団体等との連携により、地域福祉・医療等を充実・補完する事業

(1) 療養所入所者訪問・一時帰省招待およびハンセン病啓発事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため里帰り事業は実施できなかったが、療養所訪問を実施したほか、ハンセン病に関する正しい理解と認識を得るため、講演会の開催や、リーフレットによる啓発および現地学習会を実施した。

①一時帰省招待事業

I. 療養所訪問

i 国立療養所長島愛生園、国立療養所邑久光明園

期間 令和4年6月17日(金)

面会者数 4名

ii 国立療養所邑久光明園退所者(滋賀県在住)

期間 令和4年11月9日(水)

面会者数 4名

II. 里帰り

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、帰省者なし

②ハンセン病啓発事業

I. ハンセン病を正しく理解するための啓発講演会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施なし

II. ハンセン病問題に関する現地学習会

内容 学芸員による講義、歴史館見学、
歴史回廊見学(患者収容棧橋、収容所、監房、目白寮、納骨堂)

対象者 看護専門学校学生、市町人権啓発担当者等(参加者19名)

日時 令和4年8月30日(火) 8:00～18:30

場所 国立療養所長島愛生園

III. ハンセン病啓発用リーフレットの作成および配布

作成数 6,000部

配布先 県内中・高・大学校、県内各市町人権担当課、啓発講演会等

(2) 母子保健関連推進事業

①母子健康手帳別冊作成事業

妊婦と乳幼児の健康管理・保健指導の充実を図ることを目的に、県・市町の保健師等と交え、内容を精査検討し、県内で統一的な取扱いができる「母子健康手帳別冊」を作成し、配布した。令和4年度は10,030部を作成、配布した。昨年度より作成数は280部減少した。

表 1 令和 4 年度分母子健康手帳別冊作成実績表

	母子健康手帳 別冊	市町名	母子健康手帳 別冊
彦根市	900	高島市	300
長浜市	970	東近江市	1,100
近江八幡市	750	米原市	280
草津市	1,400	日野町	180
守山市	950	竜王町	80
栗東市	1,100	愛荘町	210
野洲市	530	豊郷町	70
甲賀市	650	甲良町	35
湖南市	460	多賀町	65
		合計	10,030

②妊婦委託健康診査費支払協力事業（市町委託事業）

滋賀県下の市町では、県内に居住し、市町から母子手帳の交付を受けている妊婦を対象に、その健康管理の向上と健康診査の一層の徹底を図るため、市町の委託医療機関において、妊婦の健康診査が実施されている。妊婦一般健康診査については1人につき14回以内（多胎妊婦については、最大19回）とし、超音波検査は1人につき4回（多胎妊婦については、最大6回）としている。その他、血液検査は妊娠初期・中期・後期と検査時期の目安をもうけ、各1回ずつ、子宮頸がん検査・B群溶血性レンサ球菌検査（GBS）・クラミジア検査についても、1人1回としている。新生児聴覚検査は、19市町で実施している。

また、妊婦がやむを得ない理由により県外の医療機関で妊婦一般健康診査を受けた場合、これらの費用の償還払いが行われている。

当財団では、妊婦委託健康診査事業費等支払業務の円滑な推進のため、市町が医療機関に委託して行う妊婦健康診査費用の請求にかかる請求書受理、仕分、点検および支払事務に関する業務を実施した。また、新生児聴覚検査の支払業務、多胎妊婦への追加健診の助成拡充にも対応した。令和4年度の妊婦健診受診券の処理枚数は222,869件で、昨年度より6,522枚減少した。

表 1 妊婦委託健康診査事業費等支払業務実績表

(枚)

	基本健診	超音波	血液初期	血液中期	血液後期	子宮頸がん	GBS	クラミジア	新生児聴覚	市町の合計
大津市	29,395	9,301	2,336	2,319	2,066	2,306	2,173	2,305	2,233	54,434
草津市	12,654	4,052	1,070	1,014	907	1,067	961	1,038	969	23,732
守山市	9,223	2,919	711	733	692	694	724	733	719	17,148
栗東市	9,594	3,065	781	792	689	775	759	778	686	17,919
近江八幡市	7,260	2,252	584	576	503	572	545	548	584	13,424
日野町	1,350	441	117	99	96	116	95	110	101	2,525
竜王町	621	181	43	44	51	43	50	40	52	1,125
彦根市	8,450	2,731	732	689	600	731	657	731	671	15,992
豊郷町	570	183	47	47	42	47	47	46	48	1,077
甲良町	320	99	20	25	21	20	24	18	31	578
多賀町	547	170	45	43	36	45	39	46	49	1,020
長浜市	8,766	2,838	731	733	605	731	702	777	753	16,636
湖南市	4,219	1,330	364	324	310	361	316	343	306	7,873
野洲市	4,555	1,407	358	350	341	357	359	347	337	8,411
甲賀市	7,048	2,177	551	564	494	551	500	572	534	12,991
東近江市	9,329	2,991	783	709	641	780	691	765	716	17,405
高島市	1,380	422	95	107	102	94	98	98	107	2,503
米原市	2,390	780	198	194	171	197	190	202	204	4,526
愛荘町	1,900	605	152	156	139	150	146	148	154	3,550
合計	119,571	37,944	9,718	9,518	8,506	9,637	9,076	9,645	9,254	222,869

(3) 医師会健診データ電子化事業（滋賀県医師会委託事業）

厚生労働省では生活習慣病の有病者及び予備群が増加傾向にあることから平成 20 年度に医療制度改革を実施し、医療保険者による特定健康診査、後期高齢者健康診査を開始した。

滋賀県医師会では県内全域の医療機関で特定健康診査、後期高齢者健康診査が受診できるような医療保険者代表者と集合契約を締結した。

しかし、集合契約では各医療機関が独自に支払代行機関への電子化請求、および結果通知表作成を実施する必要があるため、健康診査を実施しない医療機関が増え滋賀県民の受診機会（受診率）が減少することが危惧された。

そのために、平成 20 年度より当財団が電子化請求代行業務、および結果通知表作成業務を受託することになった。そのことにより県内医療機関での特定健康診査（後期高齢者健康診査）が実施可能となり、滋賀県民の受診機会を損なわないようサービスを提供し続けている。

令和 4 年度は 509 医療機関より 56,533 件の電子化依頼があり、前年より 1,223 件減少した。

主な業務内容

滋賀県医師会発行「特定健康診査等実施の手引き」の一部原稿作成、校正

記入用OCR帳票の作成（電子化依頼書・特定健診受診票）

記入内容のチェック

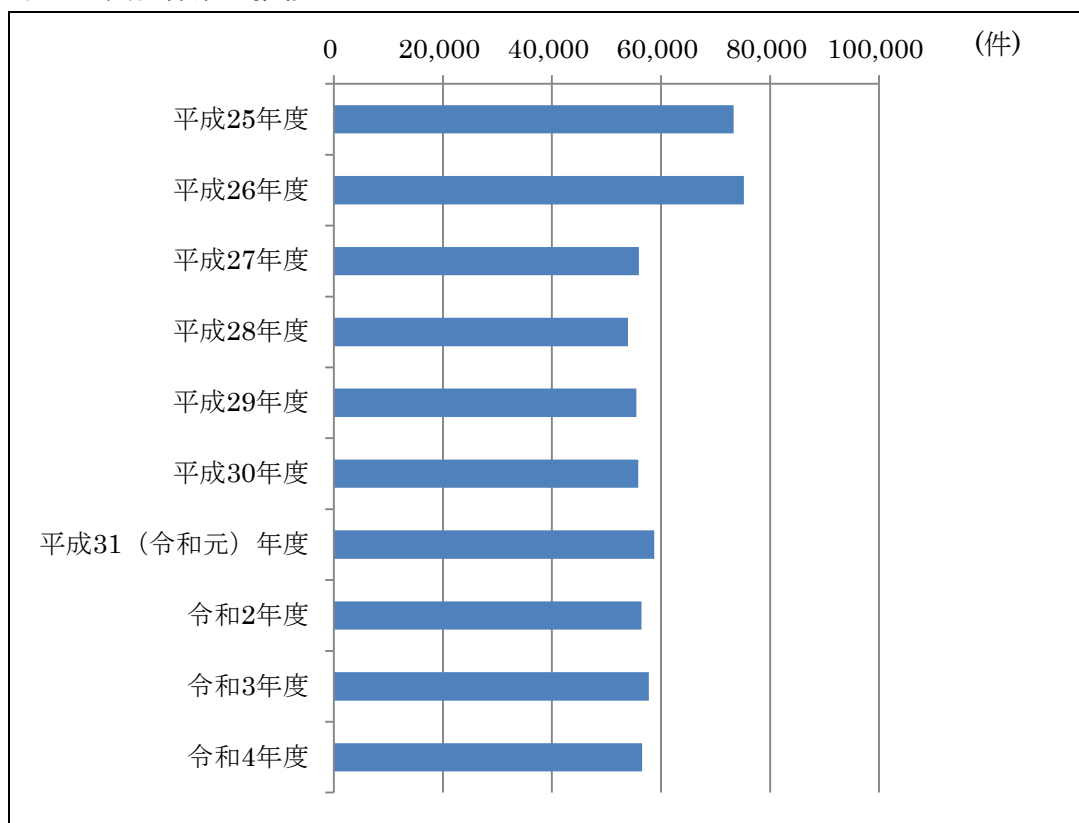
結果通知表の作成

支払代行機関への請求代行
医療機関からの問い合わせ対応

表 1 電子化依頼受付件数(医療機関数)の推移

	受付医療機関数	受付件数
平成 25 年度	524 機関	73,333 件
平成 26 年度	526 機関	75,215 件
平成 27 年度	525 機関	55,957 件
平成 28 年度	520 機関	53,931 件
平成 29 年度	513 機関	55,508 件
平成 30 年度	518 機関	55,857 件
平成 31 (令和元) 年度	516 機関	58,782 件
令和 2 年度	515 機関	56,423 件
令和 3 年度	511 機関	57,756 件
令和 4 年度	509 機関	56,533 件

図 1 受付件数の推移



5. その他財団の目的を達成するために必要な事業

- (1) 結核予防会滋賀県支部事業
- (2) 日本対がん協会滋賀県支部事業
- (3) 個人情報取り扱いを適切に行う体制整備事業

5. その他財団の目的を達成するために必要な事業

(1) 結核予防会滋賀県支部事業

財団法人結核予防会が設立されたのは昭和 14 年 5 月 22 日である。当時の結核で死亡する者は 10 数万人を超え、死亡原因の首位を占めていた。また、死者・患者とも青年層に多く亡国病と呼ばれていた。この状態を深く憂慮された昭和の皇后陛下の令旨によるものである。

滋賀県支部の設立は昭和 15 年 3 月 26 日であり、滋賀県厚生部医務予防課に事務所を置いていた。昭和 55 年 4 月 1 日に財団法人結核予防会滋賀県支部と滋賀県公衆衛生協会を統合し、財団法人滋賀県保健衛生協会として発足し、その事業として結核予防会滋賀県支部事業を行ってきた。

結核予防会本部においては平成 22 年度、当財団においては平成 24 年度に公益財団法人へ移行し、引き続き全国組織である結核予防会の支部としての事業を行っている。

①第 74 回結核予防全国大会

I. 開催期日

令和 5 年 2 月 14 日(火)～15 日(水)

II. 開催場所

熊本県：(ホテル日航熊本)

III. 主催

公益財団法人結核予防会

②結核予防会近畿ブロック会議 (オンライン開催)

I. 開催期日

令和 4 年 10 月 12 日(水)

II. 当番府県

滋賀県 (公益財団法人滋賀県健康づくり財団)

③結核予防婦人団体への助成

結核予防婦人団体である公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会の滋賀県支部は、滋賀県地域女性団体連合会である。同連合会が結核予防をはじめ、県民の健康づくりの向上を図るために、連絡協議会の年会費や会員が参加する研修等に助成を行っている。

主な研修会等

- ・第 27 回結核予防関係婦人団体中央講習会 (東京都：KKR ホテル東京)
- ・第 74 回結核予防全国大会 (熊本県：ホテル日航熊本)

(2) 日本対がん協会滋賀県支部事業

がんは昭和 56 年に死亡原因の第一位となり現在に至っている。財団法人滋賀県対ガン協会が設立されたのは昭和 36 年 4 月であり、滋賀県厚生部医務予防課に事務所を置き、財団法人日本対がん協会滋賀県支部も兼ねていた。昭和 55 年 4 月 1 日に財団法人滋賀県対ガン協会と滋賀県公衆衛生協会を統合し、財団法人滋賀県保健衛生協会として発足し、がん征圧推進母体としてがん予防にかかる正しい知識の普及啓発、健診活動を行ってきた。

日本対がん協会本部においては平成 22 年度、当財団においては平成 24 年度に公益財団法人

へ移行し、引き続き全国組織である日本対がん協会の支部としての事業を行っている。

①2022 年度がん征圧全国大会（オンライン開催）

I. 開催期日

令和4年9月2日(金)

II. 開催場所

発信拠点：公益財団法人三重県健康管理事業センター

III. 主催

公益財団法人日本対がん協会

IV. 大会テーマ内容

美（うま）し国・三重から「がん検診で守る大切な命」

V. 内容

表彰式典

がん征圧全国大会記念セミナー テーマ「がん対策の現状と展望」

厚生労働省健康局 がん・疾病対策課 課長 中谷祐貴子 氏

VI. 参加者

国、都道府県、市町村の保健・医療関係者

日本対がん協会各都道府県支部

その他の保健・医療関係者、一般県民など

②日本対がん協会近畿ブロック会議

I. 開催期日

令和4年10月25日(火)

II. 開催場所

発信拠点：一般財団法人 奈良県健康づくり財団

III. 当番府県

奈良県（一般財団法人 奈良県健康づくり財団）

(3) 個人情報の取り扱いを適切に行う体制整備事業

平成28年9月から運用を開始している個人情報保護マネジメントシステム（PMS）の適正な運用のため、従業員教育、内部、PMSの見直しをした。

『主な実施内容』

令和4年5月	PMS委員会の開催
令和5年1月	PMS担当者研修受講
令和5年3月	従業員への教育実施
令和5年3月	内部監査
令和5年3月	マネジメントレビュー

(4) 健康経営に関する事業

当財団は、経済産業省・日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）」の認定を受けた。

健康経営優良法人制度とは地域の健康課題に則した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度である。職員に対する健康づくりの取組が評価され、認定に繋がった。

今後も職員の健康が法人の財産と捉え、健康経営に積極的に取り組み、職員の健康増進と生産性の向上の両立を実現し、働きがいのある職場づくりを推進する。

6. 精度管理

(1) 内部精度管理

(2) 外部精度管理

6. 精度管理

(1) 内部精度管理

①細胞診断の精度管理

- ・偽陽性以上検体のダブルチェック
- ・陰性症例 10%をダブルチェック

②X線画像の精度管理

- ・「滋賀県健康づくり財団検診画像検討会」で、外部専門医師（放射線医）が検診画像、読影について評価、検討

③胃がん検診

- ・胃がん検診専門技師認定者（5名）による撮影
- ・胃がん検診専門認定医師認定者（6名）による読影

④乳がん検診

- ・マンモグラフィ技術試験評価での A、B 認定資格者（3名）による撮影
- ・マンモグラフィ読影試験評価での A、B 認定資格者（5名）による二重読影

(2) 外部精度管理

①一般健診（血液・尿等）

- ・公益社団法人滋賀県臨床検査技師会の精度管理
A 評価（一部 B 評価あり）

②一般健診（計測）

- ・一般社団法人滋賀県計量協会 特定計量器定期検査

③胸部画像（結核健診・肺がん検診）

- ・結核予防会胸部画像評価会精度管理研究会 画像評価 B 判定（読影に適している）

④胃がん検診

- ・日本対がん協会診療放射線技師研修会画像評価実施（読影に適している）

⑤乳がん検診

- ・公益財団法人日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設画像認定を取得のため更新手続中。

⑥細胞検査（子宮頸がん検診・肺がん検診）

- ・日本臨床細胞学会の精度管理に関わる施設認定を取得
- ・公益社団法人滋賀県臨床検査技師会精度管理事業（A 評価）

7. その他の活動記録

(1) 沿革

(2) 役員会の開催状況

(3) 年間行事

(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等

(5) 学会等の研究発表

7. その他の活動記録

(1) 沿革

昭和 55 年 4 月 財団法人滋賀県保健衛生協会設立

(財) 結核予防会滋賀県支部 (昭 15 年・設立)、(財) 滋賀県対ガン協会 (昭 34 年・設立) および滋賀県公衆衛生協会 (昭 34 年・設立) の事業を継承する。

昭和 56 年 8 月 事務所を移転 (滋賀県大津市におの浜 4 丁目 4 - 5)

平成 15 年 4 月 財団法人滋賀県健康づくり財団に名称変更

(財) 滋賀県アイバンクと (財) 滋賀県腎臓バンクを (財) 滋賀県健康づくり財団に統合。

平成 24 年 4 月 公益財団法人滋賀県健康づくり財団に移行

平成 27 年 11 月 現在地に事務所を移転 (滋賀県大津市御殿浜 6 番 28 号)

(2) 役員会の開催状況

①理事会(第 49 回: 決議の省略)

日時 令和 4 年 4 月 1 日(金)

回答理事 8 人

回答監事 2 人

議題

- ・ 議題 4 - 1 号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事長 (代表理事) の選定について

②監査会

日時 令和 4 年 5 月 25 日(水) 13:53 ~ 14:42

場所 公益財団法人滋賀県健康づくり財団 大会議室

出席監事 2 人

内容 令和 3 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 事業報告(案)について
令和 3 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 決算報告(案)について
その他

③理事会(第 50 回)

日時 令和 4 年 5 月 30 日(月) 13:53 ~ 14:42

出席理事 5 人

出席監事 2 人

議題

- ・ 議第 4 - 2 号

令和 3 年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 事業報告(案)について

- ・議第4-3号
令和3年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 決算(案)について
- ・議第4-4号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の候補者について
- ・議第4-5号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 第29回評議員会の招集について

④評議員会(第29回)

日時 令和4年6月15日(月) 13:52 ~ 14:44

出席評議員 7人

出席監事 2人

議題

- ・議評第4-1号
令和3年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 決算(案)について
- ・議評第4-2号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の選任について

⑤理事会(第51回:決議の省略)

日時 令和4年6月15日(水)

回答理事 8人

回答監事 2人

議題

- ・議第4-6号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事長(代表理事)の選定について
- ・議第4-7号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 副理事長および専務理事(業務執行理事)の選定について
- ・議第4-8号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事長の職務権限の代行者の順序について

⑥理事会(第52回:決議の省略)

日時 令和4年7月5日(火)

回答評議員 8人

回答監事 2人

議題

- ・議第4-9号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 評議員の候補者について
- ・議第4-10号
公益財団法人滋賀県健康づくり財団 第30回評議員会の招集について

⑦評議員会(第30回:決議の省略)

日時 令和4年7月25日(月)

回答評議員 9人

議題

- ・議評第4-3号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 評議員の選任について

⑧理事会(第53回:決議の省略)

日時 令和4年9月13日(火)

回答理事 8人

回答監事 2人

議題

- ・議第4-11号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 就業規則の一部改正(案)について

- ・議第4-12号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 職員給与規程の一部改正(案)について

- ・議第4-13号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 退職金支給規程の一部改正(案)について

- ・議第4-14号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 職場におけるハラスメントの防止に関する規程の
制定(案)について

⑨理事会(第54回)

日時 令和5年3月27日(月) 13:58 ~ 15:11

出席理事 6人

出席監事 2人

議題

- ・議第4-15号

令和4年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 収支補正予算(案)について

- ・議第4-16号

令和4年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 資金調達及び設備投資の見込み変更
(案)について

- ・議第4-17号

令和5年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 事業計画(案)について

- ・議第4-18号

令和5年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 収支予算(案)について

- ・議第4-19号

令和5年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 資金調達及び設備投資の見込み(案)
について

- ・議第4-20号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 就業規則の一部改正(案)について

- ・議第4-21号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 役員および評議員の報酬等と費用に関する規程
の一部改正(案)について

- ・議第4-22号

令和5年度公益財団法人滋賀県健康づくり財団 常勤役員の月額報酬等の額の決定について

- ・議第4-23号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の候補者について

- ・議第4-24号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 第31回評議員会の招集について

⑩評議員会(第31回：決議の省略)

日時 令和5年3月31日(金)

回答評議員 9人

議題

- ・議評第4-4号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 役員および評議員の報酬等と費用に関する規程の一部改正(案)について

- ・議評第4-5号

公益財団法人滋賀県健康づくり財団 理事の選任について

(3) 年間行事

年 月 日	内 容
令和4年4月～令和5年3月	子宮頸がん・乳がん無料検診プレゼント事業（健診センター）
令和4年5月8日	びわ湖乳がん啓発ウォーク
令和4年6月17日	療養所訪問（国立療養所長島愛生園、国立療養所邑久光明園）
令和4年7月11日	第1回滋賀県がん対策推進運動実行委員会
令和4年7月26日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修会1日目
令和4年8月1日～9月30日	結核予防啓発活動 FM おおつCM放送
令和4年8月3日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修会2日目
令和4年8月12日	滋賀医科大学医学部附属病院 院内研修会
令和4年8月18日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修会3日目
令和4年8月25日	特定健診・特定保健指導実践者育成研修会4日目
令和4年8月26日	第1回臓器移植院内コーディネーター連絡会
令和4年8月29日	結核予防啓発活動 大杉滋賀県副知事への表敬訪問
令和4年8月30日	ハンセン病問題に関する現地学習会
令和4年9月～令和5年3月	胃がん・肺がん・大腸がん無料検診プレゼント事業（健診センター）
令和4年9月20日	がん検診検討会 部会長会議
令和4年9月23日	がん検診受診啓発広告プロジェクト（リビング新聞）
令和4年9月24日	乳がん検診マンモグラフィ読影研修会
令和4年9月27日	がん対策活動団体情報交換会
令和4年10月1・15・16日	臓器移植普及推進キャンペーン FM おおつCM放送
令和4年10月2日～16日	臓器移植普及推進キャンペーン エフエムひこねCM放送
令和4年10月4日～9日	がん検診受診啓発広告プロジェクト（インスタグラム）
令和4年10月6日～15日	臓器移植普及推進キャンペーン ロケッツ785CM放送
令和4年10月10日～14日	臓器移植普及推進キャンペーン FM ひがしおうみCM放送
令和4年10月11日	「がん講座」の出張セミナー・健康講座（社会福祉法人滋賀同仁会）
令和4年10月12日	結核予防会近畿ブロック会議（開催県）
令和4年10月15日	リレー・フォー・ライフ・ジャパンしが2022
令和4年10月16日	臓器移植グリーンライトアップ（彦根城天守）
令和4年10月24日	滋賀医科大学医学部附属病院 法定脳死判定シミュレーション
令和4年10月30日	びわ湖乳がん啓発ウォーク
令和4年11月6日	ランチ大津京 子宮頸がん・乳がん検診、臓器移植啓発
令和4年11月9日	療養所訪問 国立療養所邑久光明園退所者（滋賀県在住）
令和4年11月10日	「がん講座」の出張セミナー（アフラック生命保険株式会社）
令和4年11月14日	奈良県立総合医療センター 脳死下臓器提供シミュレーション
令和4年12月8日	滋賀県健康推進員団体連絡協議会リーダー研修会
令和4年12月9日	がん検診検討会 子宮頸がん部会
令和4年12月18日	第1回肺がん検診従事者講習会
令和4年12月21日	がん検診受診啓発広告プロジェクト（京都新聞）

令和4年12月22日	第12回「健康しが」共創会議への参画
令和4年12月24日～30日	臓器移植普及推進キャンペーン FM おおつ ラジオ番組放送
令和5年1月12日	がん検診検討会 肺がん部会
令和5年1月14日	子宮頸がん検診従事者講習会
令和5年1月18日	健康しが 第2回ワーキングチーム
令和5年1月20日	がん検診検討会 胃がん部会
令和5年1月24日	がん検診検討会 乳がん部会
令和5年1月25日	がん検診検討会 大腸がん部会
令和5年2月8日	第53回滋賀県公衆衛生学会
令和5年2月18日	健康しが「MEET YOUR HEALTH～あなたらしくヘルシーに」
令和5年3月4日	第37回京都・滋賀・奈良地区アイバンクシンポジウム
令和5年3月7日	第2回滋賀県がん対策推進運動実行委員会
令和5年3月10日	第2回臓器移植院内コーディネーター連絡会
令和5年3月12日	結核予防事業協賛秩父宮妃記念杯 結核予防啓発活動
令和5年3月13日	第13回「健康しが」共創会議への参画
令和5年3月15日	奈良県立総合医療センター 院内研修会
令和5年3月26日	消化器(胃)がん検診従事者講習会
令和5年3月26日	第2回肺がん検診従事者講習会

(4) 出席した主な会議、学会、研究会および研修会等

年 月 日	内 容
令和4年5月9日、12月9日	滋賀産業保健総合支援センター看護職・衛生管理者対象研修（大津市）
令和4年5月26～27日	B級コーディネーター研修会（日本臓器移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和4年6月10日	第63回日本臨床細胞学会総会春期大会【オンライン開催】
令和4年6月22日	全国都道府県臓器移植コーディネーター普及啓発会議（日本臓器移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和4年7月7日	全国都道府県臓器移植コーディネーター連絡会議（日本臓器移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和4年9月2日	2022年度がん征圧全国大会【オンライン開催】
令和4年9月2日	長浜市乳がん検診検討会（長浜市）
令和4年9月3日	滋賀県栄養士会生涯教育研修会【オンライン開催】
令和4年9月12日	令和4年度第1回複十字シール運動担当者会議【オンライン開催】
令和4年10月12日	結核予防会近畿ブロック会議【オンライン開催：財団主催】
令和4年10月13～15日	第58回日本移植学会（愛知県）
令和4年10月23日	スクシフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会（日本臨床検査技師会）（草津市）
令和4年10月25日	日本対がん協会近畿ブロック会議【オンライン開催】
令和4年11月4日	第61回日本臨床細胞学会秋期大会【オンライン開催】
令和4年12月16日	令和4年度第2回複十字シール運動担当者会議（東京都）
令和4年12月21日	令和4年度結核予防会診療放射線技師協議会全国幹事会（東京都）
令和5年1月11日	草津市肺がん検診精度管理委員研修会【オンライン開催】
令和5年1月14日	第51回日本消化器がん検診学会近畿地方会・第32回保健衛生研修会（奈良県）
令和5年1月28日	（一社）医療情報システム開発センター MCPO 養成コース【オンライン開催】
令和5年2月14～15日	第74回結核予防全国大会（熊本県）
令和5年2月17日	全国アイバンク連絡協議会（日本アイバンク協会）【オンライン開催】
令和4年2月23～25日	第55回日本臨床腎移植学会（日本臨床腎移植学会）【オンライン開催】
令和4年2月25日	全国アイバンク連絡協議会（日本アイバンク協会）【オンライン開催】
令和5年2月28日	全国都道府県コーディネーター普及啓発会議（日本臓器移植ネットワーク）（東京都）
令和5年2月28日	全国都道府県臓器移植コーディネーター連絡会議（日本臓器移植ネットワーク）（東京都）
令和5年3月4日	草津市胸部レントゲンを学ぶ会【オンライン開催】
令和4年3月4日	2021年度全国都道府県コーディネーター連絡会議（日本臓器移植ネットワーク）【オンライン開催】
令和5年3月16日	大津市肺がん結核検診従事者講習会（大津市）

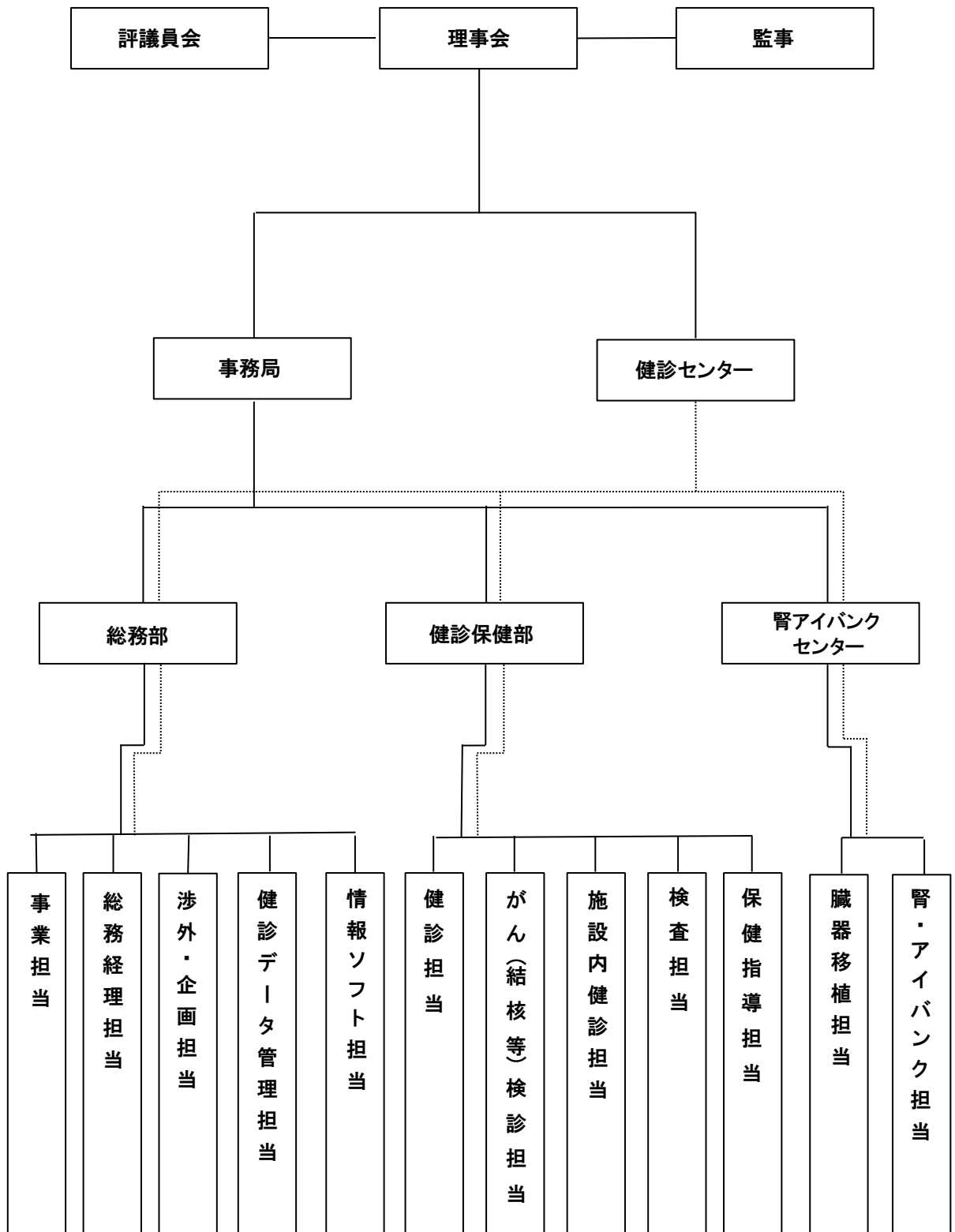
8. 組織、役員名簿

(1) 組織

(2) 役員名簿

8. 組織、役員名簿

(1) 組織



(2) 役員名簿

令和4年度

役員の別	氏名	就任年月日	備考
理事長	山元雅司	令和4年4月1日	
副理事長	越智真一	平成30年5月9日	
専務理事	水田和彦	平成29年4月1日	
理事	市川忠稔	令和3年4月1日	令和5年3月31日退任
理事	佐藤健司	令和3年5月20日	
理事	石川浩三	平成26年6月5日	令和4年6月15日退任
理事	小川修	令和4年6月15日	
理事	野村京子	平成26年6月5日	令和4年6月15日退任
理事	山本光代	令和4年6月15日	
理事	武田千洋	令和3年4月1日	
評議員	切手俊弘	令和2年4月1日	
評議員	伊藤定勉	平成26年1月31日	
評議員	小西真	平成30年5月2日	
評議員	荒木勇雄	平成30年6月14日	令和4年7月24日退任
評議員	嶋村清志	令和4年7月25日	
評議員	小川靖子	令和3年7月9日	
評議員	古山忠宏	平成30年6月14日	令和4年7月24日退任
評議員	武田宣明	令和4年7月25日	
評議員	大本和由	令和2年6月15日	
評議員	山本章	令和2年6月15日	
評議員	青木隆三	平成26年7月30日	令和4年7月24日退任
評議員	畑正一	令和4年7月25日	
監事	円水成行	平成24年4月1日	
監事	徳永博史	平成24年4月1日	

令和5年度 事業年報

発行日：令和6年3月

発行者：公益財団法人滋賀県健康づくり財団

〒520-0834 大津市御殿浜6番28号

TEL：077-536-5210（代）

FAX：077-536-5211